

2022 年度来訪者管理モニタリング業務

実施報告書

2023 年 3 月

公益財団法人 日本交通公社

< 目 次 >

1. はじめに	01
（1）業務の背景・目的	01
（2）調査の概要	03
（3）2022年度の開山状況	05
2. 2022年度アンケート調査の結果	09
（1）世界文化遺産としての富士山について	10
（2）登山時の状況について	11
（3）富士登山を終えた感想	17
（4）今回の登山概要について	19
（5）新しい登山マナー・新型コロナ感染予防対策について	27
（6）自由記述内容の整理	30
（7）回答者属性	32
3. 富士山の適正な収容力及び来訪者管理等に係る分析・提案	36
（1）指標・水準の達成状況の評価・検証	36
（2）登山者属性の経年変化	42
（3）登山者属性による回答傾向の分析	44
（4）2023年度以降の調査方法の提案	65
参考資料	69
Ⅰ. アンケート調査票（登山者調査）	71
Ⅱ. アンケート調査結果（属性における登山道・経年別集計）	76
Ⅲ. アンケート調査結果（指標値における登山道・経年・属性別集計）	77
Ⅳ. アンケート調査結果（他設問における登山道・経年・属性別集計）	83

1. はじめに

(1) 業務の背景・目的

- ・ 富士山は、日本文化の基層を成す名山として世界的に著名であり、秀麗な成層火山であるのみならず、信仰の対象と芸術の源泉としても顕著な普遍的な価値を持つことから、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）の登録勧告を受ける形で、2013年、世界遺産に登録された。
- ・ ただし、ICOMOSの勧告には富士山の保全に関する勧告・要請事項が含まれており、静岡県・山梨県をはじめとする各関係者には、（安全で快適な）望ましい富士登山を実現するための来訪者管理戦略や、各構成資産の一体的な認知・理解向上のための戦略を含む「保全状況報告書」の提出が求められた。
- ・ こうした背景を受けて、静岡県・山梨県では2014年から富士登山における収容力の調査・研究を開始、調査・研究に必要なデータを取得するため、登山者アンケートをはじめとして、GPSロガーを活用した登山者動態把握調査や、定点撮影調査等の各種調査を実施してきた。
- ・ 本業務は、これまでの調査・研究結果を踏まえて設定された『望ましい富士登山の在り方』を実現するための指標・水準^{※1}の進捗状況をこれまでに実施した来訪者管理モニタリング業務の成果も踏まえ、測定・評価するとともに、長期計画期間（2020～2024年）における指標・水準の設定に向けた論点整理及び提案を行うことを目的として実施する。

※1 次頁に「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた指標を掲載。

表 「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた指標

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	水準 (目標値)
視点	区分			
十七世紀以来の登拝に起源する登山の文化的 伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場合には、途中の山小屋で宿泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合	全体	80%以上
	特定された山麓の巡礼路・登山道からの登山が行われていること	古くからの巡礼路としてルートが特定されている吉田口登山道における山麓からの登山者の割合	吉田	15%以上
	山麓の神社・霊地等と登山道とのつながりが認知・理解されていること	山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合	全体	50%以上
		富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合	全体	90%以上
登山道及び山頂付近の 良好な展望景観の維持	山小屋・防災関連の施設等の登山者のための施設が自然と調和していること	自然と調和しない人工構造物による登山道沿いの景観阻害	全体	非調和的要素が予見又は発見されない
	浸食・植生等の変化による展望景観への影響が抑制されていること	五合目以上における登山道の浸食や植生等の変化による展望景観の変化	全体	負の影響が予見又は確認されない
登山の安全性・快適性の確保	登山装備・登山マナー等が理解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合	全体	15%以下
		人的要因による文化財き損届の件数	全体	0件
	過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること	吉田口から登山し、誤って須走口に下山した人の割合（須走口五合目ガイド対応分）	吉田 須走	0.4%以下
		山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合	全体	15%以下
		夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数/日*を超えた日数	吉田	3日以下
			富士宮	2日以下
			御殿場	—
須走	—			
* 吉田口：4,000人/日 富士宮口：2,000人/日				

(2) 調査の概要

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策にも配慮した形で、以下の通り登山者を対象としたアンケート調査を実施した。

表 アンケート調査の実施概要

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士登山後の「下山者」で「日本人」 ・ 7合目よりも上に上った登山者 ・ 18歳以上
調査日時 ^{※1}	<ul style="list-style-type: none"> ① 2022年7月17日(日) ② 2022年7月18日(月・祝) ③ 2022年7月27日(水) ④ 2022年7月28日(木) ⑤ 2022年8月12日(金) ⑥ 2022年8月13日(土): 荒天中止 <p>※1 時間はいずれも 8:00~14:00</p>
調査場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉田口五合目 ・ 御殿場口五合目 ・ 須走口五合目 ・ 富士宮口五合目
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 告知カードの配布によるモバイル自記式調査: 回答者は渡された告知カードに記載されたQRコードの読み取り、またはウェブアドレスの直接入力により、自身のモバイル機器(スマホ、タブレット等)でアンケート特設サイトにアクセスして自身で回答内容を入力 ・ 希望する回答者に対して抽選で後日、特産品のセット3000円相当を送付
コロナ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ カード配布時は声をかけての依頼は原則として行わない ・ 調査趣旨の説明は予め録音した音声をハンズフリースピーカーから流す ・ 調査員はマスク・手袋をした上で告知カードをセットした配布ボックスを登山者に差し出し、協力可能な方にボックスから各自取ってもらう方式で実施 ・ 調査員は、登山者に接近する場合は過度に接近せず、なるべく距離を保つ ・ 調査員は定期的にアルコールによる手指の消毒と調査グッズの消毒を行う
調査員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート専門の調査員を配置して、告知カードを配布
対応言語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界文化遺産としての富士山について <ul style="list-style-type: none"> －富士山の神聖性 －富士登山の文化的伝統の認知 ・ 登山の状況について <ul style="list-style-type: none"> －混み具合 －人の多さの許容できる範囲 －危険だと感じたこと －ゴミを見かけた頻度 ・ 富士登山を終えた感想 <ul style="list-style-type: none"> －満足度 －具体的に不満だったこと ・ 登山概要 ・ 新しい登山マナー・新型コロナウイルス感染予防対策について ・ 個人属性 ・ 抽選への参加希望
配布数	4,662
回収数	1,392 (回収率 29.9%)

図 告知カードイメージ（吉田口配布）



サイズ：91mm×55mm

図 配布ボックスイメージ（吉田口配布）



24枚収納



カードは重ねず1枚ずつ設置



蓋つき（雨・風除け用）



蓋つき（雨・風除け用）

図 調査風景



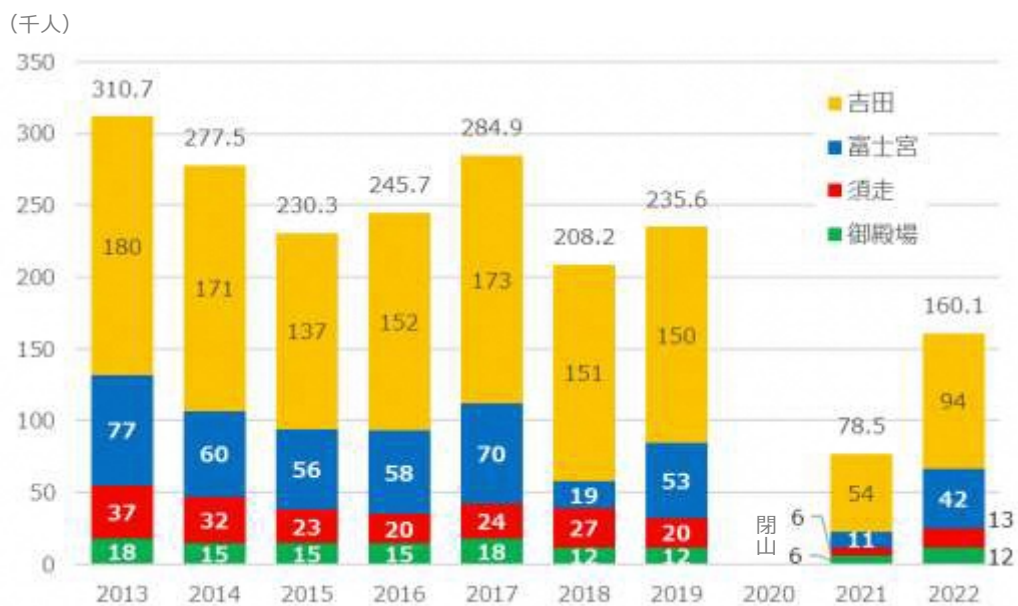
(3) 2022 年度の開山状況

① 登山者の推移

i) 登山者数の推移

- ・ 富士山の登山者数については、年によって増減がありつつ概ね 20～30 万人前後で推移してきたが、コロナの影響を受けて 2020 年は開山せず、2021 年についても各山小屋の収容人員の抑制や緊急事態宣言等が重なった影響を受けて登山者数は大幅に落ち込んだ。
- ・ 2022 年は 16 万人まで登山者数は回復したが、コロナ前の水準には至っていない状況である。

※ ただし、2021 年・2022 年いずれもデータの欠測期間がある点に留意する必要がある。



計測期間の差異や欠測があるため、比較の際は留意が必要 (下記※1～7参照)

※1 : 2013 年 7/1～8/31

2014～2015 年 7/1～9/14(吉田ルート)、7/10～9/10(須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート)
2016～2022 年 7/1～9/10(吉田ルート)、7/10～9/10(須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート)

※2 : 2014 年は雪のため、御殿場ルートでは 7/10 に六合目まで開通、富士宮ルートでは 7/10 に八合目まで開通 (いずれも全線開通は 7/18)

※3 : 2018 年は、富士宮ルートでカウンターの不具合による欠測期間 (8/14～9/10) が発生

※4 : 2019 年は、吉田ルートで山頂付近の崩落により、7/1 に八合五勺まで開通 (全線開通は 7/9 15 時)

※5 : 2020 年は、コロナのまん延防止のための閉山によりデータなし

※6 : 2021 年は、カウンターの不具合により御殿場ルート(7/13～14、7/28～30、8/9、8/18、9/5～6)、富士宮ルート(7/10～8/3)の欠測期間が発生

※7 : 2022 年は、カウンターの不具合により須走ルート(7/10～14)、台風・強風に伴う機器撤去により御殿場ルート(8/12～14、8/18～19)の欠測期間が発生

出典 : 環境省ウェブサイト

ii) 登山者の動向

- ・ 登山道別の開山期間内の日別最大登山者数をみると、いずれの登山道においても 2021 年よりも大幅に増加したものの、2018～2019 年並みに回復したのは御殿場口のみであった。
- ・ 平日平均および土日祝日平均の比率については、吉田口が 172% で、富士宮口、須走口、御殿場口については 200% を超えた。4 登山道合計では 183% となり、2021 年の 163% より上昇したものの、コロナ以前と同程度の値となった。

表 富士登山者の動向

	年	合計	前年比	最大値	(日付)	平日平均	土日祝日平均	(平日比)
吉田	2018	150,800人	87%	4,864人	8/4 (土)	1,704人	2,984人	(175%)
	2019	150,000人	99%	5,033人	8/11 (日)	1,746人	2,848人	(163%)
	2020	-	-	-		-	-	
	2021	54,400人	-	2,611人	8/28 (土)	602人	1,081人	(180%)
	2022	94,000人	173%	2,994人	9/3 (土)	1,060人	1,827人	(172%)
富士宮	2018	18,800人	27%	1,760人	7/15 (日)	387人	868人	(224%)
	2019	53,200人	283%	2,272人	8/11 (日)	636人	1,294人	(203%)
	2020	-	-	-		-	-	
	2021	11,400人	-	1,240人	8/28 (土)	254人	414人	(163%)
	2022	41,500人	364%	1,887人	7/30 (土)	483人	1,039人	(215%)
須走	2018	26,700人	114%	965人	7/15 (日)	379人	641人	(169%)
	2019	20,200人	76%	1,021人	8/11 (日)	257人	496人	(193%)
	2020	-	-	-		-	-	
	2021	6,400人	-	385人	7/23 (金)	73人	159人	(218%)
	2022	12,600人	197%	673人	9/4 (日)	149人	350人	(235%)
御殿場	2018	11,800人	64%	985人	8/5 (日)	160人	326人	(204%)
	2019	12,200人	104%	791人	8/4 (日)	160人	285人	(178%)
	2020	-	-	-		-	-	
	2021	6,300人	-	383人	7/23 (金)	78人	189人	(242%)
	2022	12,000人	190%	933人	8/7 (日)	130人	337人	(259%)
合計	2018	208,200人	73%	7,656人	7/15 (日)	2,630人	4,819人	(183%)
	2019	235,600人	113%	8,743人	8/11 (日)	2,799人	4,923人	(176%)
	2020	-	-	-		-	-	
	2021	78,500人	-	4,563人	8/28 (土)	1,007人	1,843人	(163%)
	2022	160,100人	204%	5,381人	9/3 (土)	1,822人	3,553人	(183%)

※ 環境省関東地方環境事務所発表資料を基に作成

※ 計測期間の差異や欠測があるため、比較の際は留意が必要 (前頁※1～7参照)

② 来訪者管理に係る主な取組【2022 年度】

<登山者の安全対策・マナー啓発>

◆ 安全誘導員（富士宮ルート、須走・吉田ルート）の配置

- ・ 富士宮口山頂、九合五勺、八合目付近におけるソーシャルディスタンス確保等のマナー啓発、混雑緩和、情報収集
- ・ 吉田・須走合流地点より上方の登山者の安全確保

◆ 登下山道の巡回の実施

- ・ 登下山道において、日中、富士山レンジャーが巡回し、マナー啓発等を実施（混雑期（お盆時期）は、夜間にも拡大）（山梨県）
- ・ 登山道及び下山道の点検、整備

◆ 混雑回避（登山者の平準化）の働きかけ

- ・ 「混雑予想カレンダー」のチラシの配布（両県）、「安全登山周知のためのパンフレット」への混雑予想カレンダー掲載（静岡県）
※ 富士登山オフィシャルサイト等のホームページへの掲載も継続
- ・ 新たに 30 秒動画を作成し、混雑緩和を周知
- ・ 混雑平準化のための従来動画「富士登山のススメ」を富士登山オフィシャルサイト、富士山世界文化遺産協議会HP等へ掲載

◆ 登山者等へ感染症対策

- ・ 2021 年度に引き続き、各登山口及びマイカー規制乗換え駐車場において検温と体調確認を実施。体調確認済の方にリストバンドを配布。体調不良者には登山の自粛の呼びかけを実施
- ・ 2021 年度に引き続き、体調不良者の登山自粛や山小屋の事前予約、感染対策グッズの持参などを明記した「With コロナ時代における富士登山マナー」を両県 HP や富士登山オフィシャルサイトなどを通じて周知
- ・ 混雑地点でのソーシャルディスタンス確保を呼びかける看板設置（静岡県）
- ・ 山麓市町の宿泊施設のうち希望する施設と協定を結び、チェックアウト時に検温・体調チェックを実施（静岡県）

◆ SNS の活用

- ・ Twitter を活用し、富士登山の安全登山情報(気象情報・混雑情報)を発信

図 混雑予想の事前周知

混雑予想カレンダーリーフレット



令和4年度に作成した30秒動画
 (<https://www.youtube.com/watch?v=HLaITzkfWNs>)

2. 2022 年度アンケート調査の結果

- ・ 次頁以降に、2022 年度アンケート調査の結果を掲載する。
- ・ なお、参考として各調査日および調査前日における各登山道の日別登山者数を以下に示す。

表 調査日および調査前日における日別登山者数（人）

第 1 期 (7/17, 18)
第 2 期 (7/27, 28)
第 3 期 (8/12, 13)

※ 8/13 は荒天により調査中止

日付	登山者数					
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	
2022/7/16 (土)	1,508	137	95	522	2,262	
2022/7/17 (日)	2,252	331	241	1,119	3,943	調査日
2022/7/18 (月・祝)	1,047	192	300	617	2,156	調査日
2022/7/26 (火)	802	200	36	197	1,235	
2022/7/27 (水)	843	90	44	409	1,386	調査日
2022/7/28 (木)	1,132	160	130	511	1,933	調査日
2022/8/11 (木・祝)	2,198	433	387	1,250	4,268	
2022/8/12 (金)	976	73	3	113	1,165	調査日
2022/8/13 (土)	31	1	-	5	37	調査中止

※ - はデータ欠損。

(1) 世界文化遺産としての富士山について

① 神聖性

- 登山を通じて富士山に神聖性を「感じた／少し感じた」と回答した登山者は86.6%と、約9割弱の登山者が神聖性を何らかの形で感じている結果となった。なお登山道別には、回答率が高い順に須走口(87.0%)、吉田口(86.9%)、富士宮口(86.8%)、御殿場口(76.7%)となり、御殿場口がやや低くなった。

表 神聖性を感じた登山者

神聖性	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
感じた	410	76	22	202	710	50.6%	61.8%	51.2%	53.4%	52.4%
少し感じた	294	31	11	126	462	36.3%	25.2%	25.6%	33.3%	34.1%
感じなかった	106	16	10	50	182	13.1%	13.0%	23.3%	13.2%	13.4%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

神聖性	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
感じた	360	247	107	17	731	53.0%	54.6%	47.6%	47.2%	52.5%
少し感じた	230	160	70	14	474	33.9%	35.4%	31.1%	38.9%	34.1%
感じなかった	89	45	48	5	187	13.1%	10.0%	21.3%	13.9%	13.4%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 文化的伝統

- 富士登山における文化的伝統の認知について「以前から知っていた」と回答した登山者は28.8%、「今回の登山・訪問で知った」と回答した登山者は13.7%で、認知していない登山者が過半数を占める結果となった。登山道別には、吉田口で「知らなかった」の割合がやや高く、約6割(60.2%)の登山者が富士登山における文化的伝統を認知していない結果となった。

表 富士登山における文化的伝統の認知

文化的伝統	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
以前から知っていた	215	44	21	110	390	26.5%	35.8%	48.8%	29.1%	28.8%
今回の登山・訪問で知った	107	24	5	49	185	13.2%	19.5%	11.6%	13.0%	13.7%
知らなかった	488	55	17	219	779	60.2%	44.7%	39.5%	57.9%	57.5%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

文化的伝統	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
以前から知っていた	185	140	69	14	408	27.2%	31.0%	30.7%	38.9%	29.3%
今回の登山・訪問で知った	95	64	26	4	189	14.0%	14.2%	11.6%	11.1%	13.6%
知らなかった	399	248	130	18	795	58.8%	54.9%	57.8%	50.0%	57.1%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 登山時の状況について

① 登山時における混雑感

- ・ 登山時における各箇所の混雑感について、「とても混んでいた」と感じた人の割合は、登山道に対して 5.2%、山頂について 8.3%、トイレについて 1.5%、山小屋について 10.5%となった。山小屋に対して混雑を感じた人が最も多く、次いで山頂、登山道、トイレの順となっている。
- ・ 今夏は、2021 年に引き続き、登山者数も比較的少なく、「とても混んでいた」と「やや混んでいた」を合わせた割合は、登山道 35.4%、山頂 33.9%、トイレ 13.2%、山小屋 42.8%となった。
- ・ 登山道別に見ると、登山道と山頂では「とても混んでいた」と感じた人の割合が吉田口で最も高く、山頂については次いで須走口での割合が高くなっている。須走口は途中で吉田口と合流し、山頂は同じ場所となるため、吉田口と同様に混雑感が高まったことが考えられる。

表 登山時における混雑感

混雑感	日本語					日本語					
	登山道					登山道					
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	
登山道	とても混んでいた	51	2	0	17	70	6.3%	1.6%	0.0%	4.5%	5.2%
	やや混んでいた	267	20	6	116	409	33.0%	16.3%	14.0%	30.7%	30.2%
	どちらでもない	142	11	4	77	234	17.5%	8.9%	9.3%	20.4%	17.3%
	やや空いていた	218	38	13	88	357	26.9%	30.9%	30.2%	23.3%	26.4%
	とても空いていた	132	52	20	78	282	16.3%	42.3%	46.5%	20.6%	20.8%
	覚えていない・見ていない	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	とても混んでいた	77	9	1	26	113	9.5%	7.3%	2.3%	6.9%	8.3%
	やや混んでいた	183	35	13	116	347	22.6%	28.5%	30.2%	30.7%	25.6%
	どちらでもない	96	10	4	36	146	11.9%	8.1%	9.3%	9.5%	10.8%
	やや空いていた	119	19	11	52	201	14.7%	15.4%	25.6%	13.8%	14.8%
	とても空いていた	101	14	6	46	167	12.5%	11.4%	14.0%	12.2%	12.3%
	覚えていない・見ていない	234	36	8	102	380	28.9%	29.3%	18.6%	27.0%	28.1%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	とても混んでいた	13	1	2	4	20	1.6%	0.8%	4.7%	1.1%	1.5%
	やや混んでいた	122	6	1	30	159	15.1%	4.9%	2.3%	7.9%	11.7%
	どちらでもない	169	22	5	86	282	20.9%	17.9%	11.6%	22.8%	20.8%
	やや空いていた	208	40	13	105	366	25.7%	32.5%	30.2%	27.8%	27.0%
	とても空いていた	270	51	17	129	467	33.3%	41.5%	39.5%	34.1%	34.5%
	覚えていない・見ていない	28	3	5	24	60	3.5%	2.4%	11.6%	6.3%	4.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	とても混んでいた	88	6	2	46	142	10.9%	4.9%	4.7%	12.2%	10.5%
	やや混んでいた	274	35	7	122	438	33.8%	28.5%	16.3%	32.3%	32.3%
	どちらでもない	190	31	2	61	284	23.5%	25.2%	4.7%	16.1%	21.0%
	やや空いていた	155	20	14	71	260	19.1%	16.3%	32.6%	18.8%	19.2%
	とても空いていた	54	16	5	37	112	6.7%	13.0%	11.6%	9.8%	8.3%
	覚えていない・見ていない	49	15	13	41	118	6.0%	12.2%	30.2%	10.8%	8.7%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

混雑感	日本語					日本語					
	調査回					調査回					
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計	
登山道	とても混んでいた	56	3	9	2	70	8.2%	0.7%	4.0%	5.6%	5.0%
	やや混んでいた	269	61	76	14	420	39.6%	13.5%	33.8%	38.9%	30.2%
	どちらでもない	129	67	41	4	241	19.0%	14.8%	18.2%	11.1%	17.3%
	やや空いていた	128	166	59	11	364	18.9%	36.7%	26.2%	30.6%	26.1%
	とても空いていた	94	155	40	5	294	13.8%	34.3%	17.8%	13.9%	21.1%
	覚えていない・見ていない	3	0	0	0	3	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	とても混んでいた	98	12	2	2	114	14.4%	2.7%	0.9%	5.6%	8.2%
	やや混んでいた	223	113	7	13	356	32.8%	25.0%	3.1%	36.1%	25.6%
	どちらでもない	74	56	14	7	151	10.9%	12.4%	6.2%	19.4%	10.8%
	やや空いていた	72	111	18	3	204	10.6%	24.6%	8.0%	8.3%	14.7%
	とても空いていた	51	77	43	4	175	7.5%	17.0%	19.1%	11.1%	12.6%
	覚えていない・見ていない	161	83	141	7	392	23.7%	18.4%	62.7%	19.4%	28.2%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	とても混んでいた	13	1	6	0	20	1.9%	0.2%	2.7%	0.0%	1.4%
	やや混んでいた	114	19	24	5	162	16.8%	4.2%	10.7%	13.9%	11.6%
	どちらでもない	162	72	41	13	288	23.9%	15.9%	18.2%	36.1%	20.7%
	やや空いていた	177	129	70	4	380	26.1%	28.5%	31.1%	11.1%	27.3%
	とても空いていた	175	219	69	12	475	25.8%	48.5%	30.7%	33.3%	34.1%
	覚えていない・見ていない	38	12	15	2	67	5.6%	2.7%	6.7%	5.6%	4.8%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	とても混んでいた	88	15	34	7	144	13.0%	3.3%	15.1%	19.4%	10.3%
	やや混んでいた	246	99	89	15	449	36.2%	21.9%	39.6%	41.7%	32.3%
	どちらでもない	148	103	36	5	292	21.8%	22.8%	16.0%	13.9%	21.0%
	やや空いていた	98	136	30	2	266	14.4%	30.1%	13.3%	5.6%	19.1%
	とても空いていた	28	65	16	5	114	4.1%	14.4%	7.1%	13.9%	8.2%
	覚えていない・見ていない	71	34	20	2	127	10.5%	7.5%	8.9%	5.6%	9.1%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 登山時の混雑における許容度

- ・ 登山時における各箇所の混雑に対する許容度は、「許容できない」と感じた人の割合が、登山道に対して 0.6%、山頂について 0.9%、トイレについて 1.0%、山小屋について 1.8%となった。山小屋に対して許容できないと感じた人が最も多く、次いでトイレ、山頂、登山道の順となっているが、いずれも 2%未満と値は小さくなっている。
- ・ 「許容できない」と「あまり許容できない」を合わせた割合で見ても、登山道 4.1%、山頂 4.5%、トイレ 4.1%、山小屋 8.0%と、いずれも 1 割以内に留まっている。
- ・ 登山道別に見ても、特にいずれかの項目で「許容できない」の割合が高くなっている箇所は見られない。

表 登山時の混雑における許容度

許容度		日本語					日本語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山道	許容できない	5	0	0	3	8	0.6%	0.0%	0.0%	0.8%	0.6%
	あまり許容できない	32	2	2	12	48	4.0%	1.6%	4.7%	3.2%	3.5%
	どちらでもない	46	4	0	29	79	5.7%	3.3%	0.0%	7.7%	5.8%
	やや許容できる	151	11	11	66	239	18.6%	8.9%	25.6%	17.5%	17.7%
	許容できる	575	106	29	265	975	71.0%	86.2%	67.4%	70.1%	72.0%
	わからない・見ていない	1	0	1	3	5	0.1%	0.0%	2.3%	0.8%	0.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	許容できない	7	1	0	4	12	0.9%	0.8%	0.0%	1.1%	0.9%
	あまり許容できない	28	7	1	13	49	3.5%	5.7%	2.3%	3.4%	3.6%
	どちらでもない	50	4	1	30	85	6.2%	3.3%	2.3%	7.9%	6.3%
	やや許容できる	107	12	12	59	190	13.2%	9.8%	27.9%	15.6%	14.0%
	許容できる	383	64	18	165	630	47.3%	52.0%	41.9%	43.7%	46.5%
	わからない・見ていない	235	35	11	107	388	29.0%	28.5%	25.6%	28.3%	28.7%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	許容できない	7	0	1	5	13	0.9%	0.0%	2.3%	1.3%	1.0%
	あまり許容できない	31	2	1	8	42	3.8%	1.6%	2.3%	2.1%	3.1%
	どちらでもない	60	11	3	35	109	7.4%	8.9%	7.0%	9.3%	8.1%
	やや許容できる	103	13	7	56	179	12.7%	10.6%	16.3%	14.8%	13.2%
	許容できる	578	92	26	250	946	71.4%	74.8%	60.5%	66.1%	69.9%
	わからない・見ていない	31	5	5	24	65	3.8%	4.1%	11.6%	6.3%	4.8%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	許容できない	15	2	0	8	25	1.9%	1.6%	0.0%	2.1%	1.8%
	あまり許容できない	47	5	2	30	84	5.8%	4.1%	4.7%	7.9%	6.2%
	どちらでもない	79	5	3	39	126	9.8%	4.1%	7.0%	10.3%	9.3%
	やや許容できる	133	19	4	74	230	16.4%	15.4%	9.3%	19.6%	17.0%
	許容できる	483	76	19	184	762	59.6%	61.8%	44.2%	48.7%	56.3%
	わからない・見ていない	53	16	15	43	127	6.5%	13.0%	34.9%	11.4%	9.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

許容度		日本語					日本語				
		調査回					調査回				
		第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
登山道	許容できない	7	0	1	0	8	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.6%
	あまり許容できない	37	3	9	0	49	5.4%	0.7%	4.0%	0.0%	3.5%
	どちらでもない	45	13	17	5	80	6.6%	2.9%	7.6%	13.9%	5.7%
	やや許容できる	133	61	43	9	246	19.6%	13.5%	19.1%	25.0%	17.7%
	許容できる	453	375	153	22	1003	66.7%	83.0%	68.0%	61.1%	72.1%
	わからない・見ていない	4	0	2	0	6	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.4%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	許容できない	11	1	0	0	12	1.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
	あまり許容できない	38	6	5	1	50	5.6%	1.3%	2.2%	2.8%	3.6%
	どちらでもない	55	16	12	6	89	8.1%	3.5%	5.3%	16.7%	6.4%
	やや許容できる	127	57	8	2	194	18.7%	12.6%	3.6%	5.6%	13.9%
	許容できる	283	288	55	20	646	41.7%	63.7%	24.4%	55.6%	46.4%
	わからない・見ていない	165	84	145	7	401	24.3%	18.6%	64.4%	19.4%	28.8%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	許容できない	5	2	7	0	14	0.7%	0.4%	3.1%	0.0%	1.0%
	あまり許容できない	28	5	9	0	42	4.1%	1.1%	4.0%	0.0%	3.0%
	どちらでもない	65	19	20	8	112	9.6%	4.2%	8.9%	22.2%	8.0%
	やや許容できる	97	50	28	7	182	14.3%	11.1%	12.4%	19.4%	13.1%
	許容できる	451	361	140	19	971	66.4%	79.9%	62.2%	52.8%	69.8%
	わからない・見ていない	33	15	21	2	71	4.9%	3.3%	9.3%	5.6%	5.1%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	許容できない	13	5	6	1	25	1.9%	1.1%	2.7%	2.8%	1.8%
	あまり許容できない	47	13	21	4	85	6.9%	2.9%	9.3%	11.1%	6.1%
	どちらでもない	73	26	23	7	129	10.8%	5.8%	10.2%	19.4%	9.3%
	やや許容できる	126	62	40	6	234	18.6%	13.7%	17.8%	16.7%	16.8%
	許容できる	352	307	110	15	784	51.8%	67.9%	48.9%	41.7%	56.3%
	わからない・見ていない	68	39	25	3	135	10.0%	8.6%	11.1%	8.3%	9.7%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 登山時における危険事象（複数回答）

- ・ 登山時に感じた危険事象については、「危険だと感じたことはなかった」と回答した登山者が約6割の57.8%となった。感じた危険の内容としては「その他」が最も多く23.6%、次いで「登山道の浸食・破損」が13.1%となっており、「無理な追い越し」「登山者と下山者のすれ違い」といった登山者の多さに起因する危険事象はいずれも1割以内に留まった。
- ・ 登山道別に見ても特に突出して回答割合が高くなった項目はないが、回答割合が10%を超えたのは、各登山道における「登山道の浸食・破損」、御殿場口における「無理な追い越し」「登山者と下山者のすれ違い」となっている（「その他」は除く）。

表 登山時における危険事象

危険事象	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
危険だと感じたことはなかった	487	63	21	212	783	60.1%	51.2%	48.8%	56.1%	57.8%
登山道の浸食・破損	97	15	5	61	178	12.0%	12.2%	11.6%	16.1%	13.1%
無理な追い越し	46	7	7	12	72	5.7%	5.7%	16.3%	3.2%	5.3%
登山者と下山者のすれ違い	26	4	6	30	66	3.2%	3.3%	14.0%	7.9%	4.9%
その他	192	39	9	79	319	23.7%	31.7%	20.9%	20.9%	23.6%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

危険事象	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
危険だと感じたことはなかった	397	263	122	23	805	58.5%	58.2%	54.2%	63.9%	57.8%
登山道の浸食・破損	84	68	26	7	185	12.4%	15.0%	11.6%	19.4%	13.3%
無理な追い越し	45	12	12	3	72	6.6%	2.7%	5.3%	8.3%	5.2%
登山者と下山者のすれ違い	40	13	16	2	71	5.9%	2.9%	7.1%	5.6%	5.1%
その他	138	113	70	3	324	20.3%	25.0%	31.1%	8.3%	23.3%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 登山時に見かけたゴミ

- ・ 登山時に見かけたゴミについて、「よく見かけた」と回答した登山者は 14.0%、「あまり見かけなかった」と回答した登山者は 50.1%と、過半数の登山者は何らかの形で登山時にゴミを見かけていた結果となった。
- ・ 登山道別には、「よく見かけた」割合が最も高かったのは吉田口で 16.5%、次いで富士宮口 10.8%となった。「よく見かけた」と「あまり見かけなかった」を合わせた割合だと、吉田口 67.8%、須走口 56.9%、御殿場口 62.8%、富士宮口 58.7%と、ゴミを登山時に見かけた割合は御殿場口が最も高い結果となった。

表 登山時に見かけたゴミ

登山道沿いのゴミ	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
よく見かけた	134	11	4	41	190	16.5%	8.9%	9.3%	10.8%	14.0%
あまり見かけなかった	415	59	23	181	678	51.2%	48.0%	53.5%	47.9%	50.1%
見かけなかった	261	53	16	156	486	32.2%	43.1%	37.2%	41.3%	35.9%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

登山道沿いのゴミ	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
よく見かけた	92	54	42	5	193	13.5%	11.9%	18.7%	13.9%	13.9%
あまり見かけなかった	342	219	110	22	693	50.4%	48.5%	48.9%	61.1%	49.8%
見かけなかった	245	179	73	9	506	36.1%	39.6%	32.4%	25.0%	36.4%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 富士登山を終えた感想

① 登山の満足度

- ・ 富士登山を終えての満足度について、登山時の各場面別に尋ねたところ、「とても満足」と回答した登山者の割合は、富士登山全体に対して 49.7%、御来光の景色に対して 41.8%、山小屋のサービス・雰囲気に対して 29.5%、トイレの数や設備の状態に対して 27.6%となった。満足度が比較的高い「総合満足度」と「御来光の景色」、満足度の比較的低い「山小屋のサービス・雰囲気」と「トイレの数や設備の状態」に分かれている。
- ・ 一方、「とても不満」と「やや不満」を合わせた割合として、富士登山全体に対して何らかの不満があったと見られるのは 7.2%、御来光の景色に対して 7.7%、山小屋のサービス・雰囲気に対して 12.6%、トイレの数や設備の状態に対して 11.2%となっている。
- ・ 登山道別に見てみると、富士登山全体で「とても満足」が多いのは須走口で 52.0%、御来光の景色は吉田口で 45.4%、山小屋のサービス・雰囲気は吉田口で 33.3%、トイレの数や設備の状態は吉田口で 31.1%となった。一方、「とても不満」と「やや不満」の合算値が高かったのは、富士登山全体は富士宮口で 10.0%、御来光の景色は御殿場口で 9.3%、山小屋のサービス・雰囲気は富士宮口で 14.3%、トイレの数や設備の状態は御殿場口で 16.3%となった。

表 登山の満足度

満足度		日本語					日本語				
		登山道					登山道				
		吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山全体	とても満足	417	64	22	170	673	51.5%	52.0%	51.2%	45.0%	49.7%
	やや満足	286	43	12	135	476	35.3%	35.0%	27.9%	35.7%	35.2%
	ふつう	55	8	5	34	102	6.8%	6.5%	11.6%	9.0%	7.5%
	やや不満	45	6	4	25	80	5.6%	4.9%	9.3%	6.6%	5.9%
	とても不満	5	0	0	13	18	0.6%	0.0%	0.0%	3.4%	1.3%
	分からない・当てはまらない	2	2	0	1	5	0.2%	1.6%	0.0%	0.3%	0.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
御来光の景色	とても満足	368	48	15	135	566	45.4%	39.0%	34.9%	35.7%	41.8%
	やや満足	190	30	12	71	303	23.5%	24.4%	27.9%	18.8%	22.4%
	ふつう	34	3	1	19	57	4.2%	2.4%	2.3%	5.0%	4.2%
	やや不満	40	4	3	19	66	4.9%	3.3%	7.0%	5.0%	4.9%
	とても不満	18	4	1	15	38	2.2%	3.3%	2.3%	4.0%	2.8%
	分からない・当てはまらない	160	34	11	119	324	19.8%	27.6%	25.6%	31.5%	23.9%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋のサービス・雰囲気	とても満足	270	38	8	83	399	33.3%	30.9%	18.6%	22.0%	29.5%
	やや満足	193	31	5	92	321	23.8%	25.2%	11.6%	24.3%	23.7%
	ふつう	184	28	6	97	315	22.7%	22.8%	14.0%	25.7%	23.3%
	やや不満	81	7	3	40	131	10.0%	5.7%	7.0%	10.6%	9.7%
	とても不満	22	1	2	14	39	2.7%	0.8%	4.7%	3.7%	2.9%
	分からない・当てはまらない	60	18	19	52	149	7.4%	14.6%	44.2%	13.8%	11.0%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレの数や設備の状態	とても満足	252	28	8	86	374	31.1%	22.8%	18.6%	22.8%	27.6%
	やや満足	248	39	11	108	406	30.6%	31.7%	25.6%	28.6%	30.0%
	ふつう	208	45	11	121	385	25.7%	36.6%	25.6%	32.0%	28.4%
	やや不満	72	8	7	41	128	8.9%	6.5%	16.3%	10.8%	9.5%
	とても不満	13	0	0	10	23	1.6%	0.0%	0.0%	2.6%	1.7%
	分からない・当てはまらない	17	3	6	12	38	2.1%	2.4%	14.0%	3.2%	2.8%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

満足度		日本語					日本語				
		調査回					調査回				
		第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
富士登山全体	とても満足	345	274	60	16	695	50.8%	60.6%	26.7%	44.4%	49.9%
	やや満足	241	134	99	13	487	35.5%	29.6%	44.0%	36.1%	35.0%
	ふつう	46	26	27	4	103	6.8%	5.8%	12.0%	11.1%	7.4%
	やや不満	36	17	28	2	83	5.3%	3.8%	12.4%	5.6%	6.0%
	とても不満	8	1	9	1	19	1.2%	0.2%	4.0%	2.8%	1.4%
	分からない・当てはまらない	3	0	2	0	5	0.4%	0.0%	0.9%	0.0%	0.4%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
御来光の景色	とても満足	228	283	49	20	580	33.6%	62.6%	21.8%	55.6%	41.7%
	やや満足	153	101	48	7	309	22.5%	22.3%	21.3%	19.4%	22.2%
	ふつう	32	14	10	2	58	4.7%	3.1%	4.4%	5.6%	4.2%
	やや不満	39	16	13	0	68	5.7%	3.5%	5.8%	0.0%	4.9%
	とても不満	21	1	15	1	38	3.1%	0.2%	6.7%	2.8%	2.7%
	分からない・当てはまらない	206	37	90	6	339	30.3%	8.2%	40.0%	16.7%	24.4%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋のサービス・雰囲気	とても満足	198	155	50	8	411	29.2%	34.3%	22.2%	22.2%	29.5%
	やや満足	157	107	56	7	327	23.1%	23.7%	24.9%	19.4%	23.5%
	ふつう	148	112	52	9	321	21.8%	24.8%	23.1%	25.0%	23.1%
	やや不満	73	31	26	3	133	10.8%	6.9%	11.6%	8.3%	9.6%
	とても不満	17	9	10	3	39	2.5%	2.0%	4.4%	8.3%	2.8%
	分からない・当てはまらない	86	38	31	6	161	12.7%	8.4%	13.8%	16.7%	11.6%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレの数や設備の状態	とても満足	184	147	41	11	383	27.1%	32.5%	18.2%	30.6%	27.5%
	やや満足	205	134	66	11	416	30.2%	29.6%	29.3%	30.6%	29.9%
	ふつう	188	127	72	9	396	27.7%	28.1%	32.0%	25.0%	28.4%
	やや不満	65	32	29	3	129	9.6%	7.1%	12.9%	8.3%	9.3%
	とても不満	9	5	9	1	24	1.3%	1.1%	4.0%	2.8%	1.7%
	分からない・当てはまらない	28	7	8	1	44	4.1%	1.5%	3.6%	2.8%	3.2%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 今回の登山概要について

① 登山開始地点と下山道

- ・ 登山開始地点と下山道は同じケースが多いが、須走口・御殿場口では下山道として使われるケースの方が多く、一方で吉田口と富士宮口については登山道として使われるケースの方が多くなっている。

表 登山開始地点と下山道

下山道	日本語 登山道					日本語 下山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
	吉田	777	1	0	6	784	96.0%	0.8%	0.0%	1.6%
須走	8	120	0	8	136	1.0%	97.6%	0.0%	2.1%	10.1%
御殿場	12	1	40	30	83	1.5%	0.8%	95.2%	8.0%	6.2%
富士宮	12	1	2	331	346	1.5%	0.8%	4.8%	88.3%	25.6%
計	809	123	42	375	1349	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

下山道	日本語 調査回					日本語 調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
	吉田	365	285	134	9	793	54.6%	64.2%	60.4%	25.7%
須走	81	31	24	2	138	12.1%	7.0%	10.8%	5.7%	10.1%
御殿場	46	23	14	1	84	6.9%	5.2%	6.3%	2.9%	6.1%
富士宮	176	105	50	23	354	26.3%	23.6%	22.5%	65.7%	25.9%
計	668	444	222	35	1369	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 登山開始日

- ・ 登山開始日は、「下山日の前日」とした回答が最も多く 82.7%となった。ただしこの値は、富士登山者全体における登山開始日の推計値ではなく、8:00~14:00 に実施したアンケート調査の協力者における登山開始日のデータであることに留意する必要がある。

表 登山開始日

登山開始日	日本語 登山道					日本語 下山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
	下山日の前々日	60	3	3	10	76	7.4%	2.4%	7.0%	2.6%
下山日の前日	692	105	18	305	1120	85.4%	85.4%	41.9%	80.7%	82.7%
下山日の当日	55	15	22	63	155	6.8%	12.2%	51.2%	16.7%	11.4%
その他	3	0	0	0	3	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

登山開始日	日本語 調査回					日本語 調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
	下山日の前々日	26	47	7	2	82	3.8%	10.4%	3.1%	5.6%
下山日の前日	577	363	172	26	1138	85.0%	80.3%	76.4%	72.2%	81.8%
下山日の当日	74	40	45	7	166	10.9%	8.8%	20.0%	19.4%	11.9%
その他	2	2	1	1	6	0.3%	0.4%	0.4%	2.8%	0.4%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 登山開始時間

- ・ 登山開始時間は、午後「12:00～17:30」が最も多く41.5%、次いで午前「7:00～11:30」34.3%となった。一方、夜間「18:00～翌3:30」と回答した人も2割弱（17.0%）いた。

表 登山開始時間

登山開始時間	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
早朝 (04:00-06:30)	51	8	13	22	94	6.3%	6.5%	30.2%	5.8%	6.9%
午前 (07:00-11:30)	226	61	11	166	464	27.9%	49.6%	25.6%	43.9%	34.3%
午後 (12:00-17:30)	407	29	3	123	562	50.2%	23.6%	7.0%	32.5%	41.5%
夜間 (18:00-03:30)	124	25	16	65	230	15.3%	20.3%	37.2%	17.2%	17.0%
不明	2	0	0	2	4	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

登山開始時間	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
早朝 (04:00-06:30)	39	31	28	3	101	5.7%	6.9%	12.4%	8.3%	7.3%
午前 (07:00-11:30)	207	169	82	16	474	30.5%	37.4%	36.4%	44.4%	34.1%
午後 (12:00-17:30)	273	196	91	10	570	40.2%	43.4%	40.4%	27.8%	40.9%
夜間 (18:00-03:30)	156	54	23	6	239	23.0%	11.9%	10.2%	16.7%	17.2%
不明	4	2	1	1	8	0.6%	0.4%	0.4%	2.8%	0.6%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 山小屋への宿泊

- ・ 山小屋への宿泊割合は、「宿泊した（あり）」が81.7%、「宿泊していない（なし）」が18.3%となった。ただし、前頁の登山開始日と同様、富士登山者全体における宿泊割合の推計値ではなく、アンケート調査の協力者における山小屋の宿泊割合のデータであることに留意する必要がある。
- ・ 登山道別には、御殿場口の宿泊割合が比較的低く「宿泊していない（なし）」が69.8%となった。

表 山小屋への宿泊

山小屋への宿泊	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	711	92	13	290	1106	87.8%	74.8%	30.2%	76.7%	81.7%
なし	99	31	30	88	248	12.2%	25.2%	69.8%	23.3%	18.3%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

山小屋への宿泊	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
あり	534	393	177	25	1129	78.6%	86.9%	78.7%	69.4%	81.1%
なし	145	59	48	11	263	21.4%	13.1%	21.3%	30.6%	18.9%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 山頂への到達

- ・ 山頂への到達割合は、「到達した（あり）」が 68.4%、「到達していない（なし）」が 31.6%となり、調査日の天候不良が影響した可能性がある。

表 山頂への到達

山頂への到達	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	553	85	31	257	926	68.3%	69.1%	72.1%	68.0%	68.4%
なし	257	38	12	121	428	31.7%	30.9%	27.9%	32.0%	31.6%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

山頂への到達	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
あり	504	356	62	27	949	74.2%	78.8%	27.6%	75.0%	68.2%
なし	175	96	163	9	443	25.8%	21.2%	72.4%	25.0%	31.8%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 山頂への到達時間（山頂へ到達した人のみ）

- ・ 山頂への到達時間は、早朝「4:00～6:30」と回答した人が約半数（49.8%）で、ご来光に合わせて山頂に到達した人が多い。次いで、ご来光後の時間の午前「7:00～11:30」と回答した人が 23.5%となった。

表 山頂への到達時間（山頂へ到達した人のみ）

山頂到達時間	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
早朝 (04:00-06:30)	279	40	9	133	461	50.5%	47.1%	29.0%	51.8%	49.8%
午前 (07:00-11:30)	126	26	17	49	218	22.8%	30.6%	54.8%	19.1%	23.5%
午後 (12:00-17:30)	49	7	3	26	85	8.9%	8.2%	9.7%	10.1%	9.2%
夜間 (18:00-03:30)	93	12	2	45	152	16.8%	14.1%	6.5%	17.5%	16.4%
不明	6	0	0	4	10	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	1.1%
計	553	85	31	257	926	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

山頂到達時間	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
早朝 (04:00-06:30)	282	168	7	13	470	56.0%	47.2%	11.3%	48.1%	49.5%
午前 (07:00-11:30)	103	91	28	5	227	20.4%	25.6%	45.2%	18.5%	23.9%
午後 (12:00-17:30)	26	41	18	4	89	5.2%	11.5%	29.0%	14.8%	9.4%
夜間 (18:00-03:30)	91	50	7	5	153	18.1%	14.0%	11.3%	18.5%	16.1%
不明	2	6	2		10	0.4%	1.7%	3.2%	0.0%	1.1%
計	504	356	62	27	949	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 引き返した場所（山頂に到達しなかった人のみ）

- ・ 山頂に到達しなかった人が引き返した場所として、最も多かったのは「8合目付近」で59.6%、次いで「7合目付近」20.3%、「9合目付近」10.3%となった。

表 引き返した場所（山頂に到達しなかった人のみ）

引き返した場所	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
6合目付近	6	2	2	7	17	2.3%	5.3%	16.7%	5.8%	4.0%
7合目付近	27	11	4	45	87	10.5%	28.9%	33.3%	37.2%	20.3%
8合目付近	192	23	6	34	255	74.7%	60.5%	50.0%	28.1%	59.6%
9合目付近	22	0	0	22	44	8.6%	0.0%	0.0%	18.2%	10.3%
山頂直下	1	0	0	4	5	0.4%	0.0%	0.0%	3.3%	1.2%
その他	8	2	0	9	19	3.1%	5.3%	0.0%	7.4%	4.4%
計	257	38	12	121	428	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

引き返した場所	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
6合目付近	12	3	5	1	21	6.9%	3.1%	3.1%	11.1%	4.7%
7合目付近	26	15	48	1	90	14.9%	15.6%	29.4%	11.1%	20.3%
8合目付近	101	65	87	6	259	57.7%	67.7%	53.4%	66.7%	58.5%
9合目付近	23	7	13	1	44	13.1%	7.3%	8.0%	11.1%	9.9%
山頂直下	2	1	2	0	5	1.1%	1.0%	1.2%	0.0%	1.1%
その他	11	5	7	0	23	6.3%	5.2%	4.3%	0.0%	5.2%
計	175	96	163	9	443	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧ 引き返した理由（山頂に到達しなかった人のみ）

- ・ 山頂に到達せず引き返した理由としては、「天候不良」が最も多く79.7%で、調査日における荒天が大きく影響している。天候不良以外では、「自身の体調不良・高山病」10.0%が多く、次いで、「自身の体力不足」で9.8%となった。

表 引き返した理由（山頂に到達しなかった人のみ）

引き返した理由	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
天候不良	202	31	12	96	341	78.6%	81.6%	100.0%	79.3%	79.7%
自身の体力不足	24	6	1	11	42	9.3%	15.8%	8.3%	9.1%	9.8%
自身の体調不良・高山病	25	7	0	11	43	9.7%	18.4%	0.0%	9.1%	10.0%
同行者の体力不足	16	6	0	3	25	6.2%	15.8%	0.0%	2.5%	5.8%
同行者の体調不良・高山病	26	5	1	7	39	10.1%	13.2%	8.3%	5.8%	9.1%
その他	23	0	0	14	37	8.9%	0.0%	0.0%	11.6%	8.6%
計	257	38	12	121	428	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

引き返した理由	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
天候不良	125	60	157	6	348	71.4%	62.5%	96.3%	66.7%	78.6%
自身の体力不足	18	9	12	3	42	10.3%	9.4%	7.4%	33.3%	9.5%
自身の体調不良・高山病	21	15	4	3	43	12.0%	15.6%	2.5%	33.3%	9.7%
同行者の体力不足	11	4	10	0	25	6.3%	4.2%	6.1%	0.0%	5.6%
同行者の体調不良・高山病	26	9	4	1	40	14.9%	9.4%	2.5%	11.1%	9.0%
その他	23	14	8	0	45	13.1%	14.6%	4.9%	0.0%	10.2%
計	175	96	163	9	443	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑨ 御来光の有無（見られたかどうか）

- ・ 御来光を見られたかどうかについては、「見た（あり）」と回答した登山者が 63.9%、「見ていない（なし）」と回答した割合が 36.1%となった。
- ・ 登山道別には、吉田口が最も「見た（あり）」の割合が高く 71.1%、次いで須走口 58.5%、富士宮口 51.6%、御殿場口 51.2%となった。

表 御来光の有無（見られたかどうか）

御来光有無	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	576	72	22	195	865	71.1%	58.5%	51.2%	51.6%	63.9%
なし	234	51	21	183	489	28.9%	41.5%	48.8%	48.4%	36.1%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

御来光有無	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
あり	367	384	108	22	881	54.1%	85.0%	48.0%	61.1%	63.3%
なし	312	68	117	14	511	45.9%	15.0%	52.0%	38.9%	36.7%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑩ 御来光を見た場所（見た人のみ）

- ・ 御来光を見た人に、御来光を見た場所を尋ねたところ、「山頂」が最も多く約半数の 49.1%、次いで「山小屋前」38.5%で、「登山道」については 11.1%となった。

表 御来光を見た場所（見た人のみ）

御来光を見た場所	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
山頂	253	28	9	135	425	43.9%	38.9%	40.9%	69.2%	49.1%
登山道	59	16	9	12	96	10.2%	22.2%	40.9%	6.2%	11.1%
山小屋前	259	25	4	45	333	45.0%	34.7%	18.2%	23.1%	38.5%
その他	5	3	0	3	11	0.9%	4.2%	0.0%	1.5%	1.3%
計	576	72	22	195	865	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

御来光を見た場所	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
山頂	235	179	3	16	433	64.0%	46.6%	2.8%	72.7%	49.1%
登山道	58	35	4	1	98	15.8%	9.1%	3.7%	4.5%	11.1%
山小屋前	67	167	100	5	339	18.3%	43.5%	92.6%	22.7%	38.5%
その他	7	3	1	0	11	1.9%	0.8%	0.9%	0.0%	1.2%
計	367	384	108	22	881	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑪ ガイドの利用

- ・ 登山ガイドの利用有無については、「利用した（あり）」と回答した登山者の割合が 28.4%と 3 割弱の結果となった。
- ・ 登山道によってガイド利用の有無の傾向は異なり、ガイド利用が多いのは吉田口で 36.9%、次いで富士宮口 21.2%で、須走口（4.9%）ではガイドの利用者が少なく、御殿場口の回答者についてはガイド利用者がいなかった。

表 ガイドの利用

ガイド利用	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
あり	299	6	0	80	385	36.9%	4.9%	0.0%	21.2%	28.4%
なし	511	117	43	298	969	63.1%	95.1%	100.0%	78.8%	71.6%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ガイド利用	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
あり	184	153	53	3	393	27.1%	33.8%	23.6%	8.3%	28.2%
なし	495	299	172	33	999	72.9%	66.2%	76.4%	91.7%	71.8%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑫ 富士登山回数

- ・ 調査時における富士登山の回数を尋ねたところ、今回が「初めて」と回答した登山者は最も多く 57.4%となった。次いで多かったのが「2～3回」で 24.4%、「4～9回」が 12.4%、「10回以上」の富士登山経験者は 5.8%となった。
- ・ 登山道別には、富士登山が「初めて」の登山者は吉田口で多く 63.3%に上り、一方で御殿場口で富士登山が「初めて」と回答した登山者は 23.3%に留まった。

表 富士登山回数

富士登山回数	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初めて	513	50	10	204	777	63.3%	40.7%	23.3%	54.0%	57.4%
2～3回	191	35	12	93	331	23.6%	28.5%	27.9%	24.6%	24.4%
4～9回	69	26	11	62	168	8.5%	21.1%	25.6%	16.4%	12.4%
10～19回	24	11	4	11	50	3.0%	8.9%	9.3%	2.9%	3.7%
20回以上	13	1	6	8	28	1.6%	0.8%	14.0%	2.1%	2.1%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

富士登山回数	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
初めて	385	288	107	15	795	56.7%	63.7%	47.6%	41.7%	57.1%
2～3回	158	94	78	9	339	23.3%	20.8%	34.7%	25.0%	24.4%
4～9回	95	45	28	7	175	14.0%	10.0%	12.4%	19.4%	12.6%
10～19回	23	16	10	4	53	3.4%	3.5%	4.4%	11.1%	3.8%
20回以上	18	9	2	1	30	2.7%	2.0%	0.9%	2.8%	2.2%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑬ 混雑予想情報の確認有無

- ・ 混雑予想カレンダーあるいは混雑動画を登山前に見ていたかを尋ねる質問をしたところ、「両方見た」と回答した登山者は12.0%、一方、いずれも見っていない人は66.0%となった。

表 混雑予想情報の確認有無

見たもの	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
両方見た	98	15	5	45	163	12.1%	12.2%	11.6%	11.9%	12.0%
混雑予想カレンダーのみ	163	24	8	86	281	20.1%	19.5%	18.6%	22.8%	20.8%
混雑動画のみ	7	4	1	4	16	0.9%	3.3%	2.3%	1.1%	1.2%
見えない	542	80	29	243	894	66.9%	65.0%	67.4%	64.3%	66.0%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

見たもの	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
両方見た	79	51	29	5	164	11.6%	11.3%	12.9%	13.9%	11.8%
混雑予想カレンダーのみ	119	111	55	8	293	17.5%	24.6%	24.4%	22.2%	21.0%
混雑動画のみ	8	7	1	0	16	1.2%	1.5%	0.4%	0.0%	1.1%
見えない	473	283	140	23	919	69.7%	62.6%	62.2%	63.9%	66.0%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑭ 混雑予想カレンダーを見た媒体（見た人のみ）

- ・ 混雑予想カレンダーを登山前に見ていた人に、カレンダーをどの媒体で見たかを尋ねたところ、「オフィシャルサイト」とした回答が最も多く79.8%となった。

表 混雑予想カレンダーを見た媒体（見た人のみ）

見た媒体	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
富士登山オフィシャルサイト	210	35	12	110	367	78.4%	81.4%	85.7%	81.5%	79.8%
富士山世界文化遺産協議会ホームページ	18	4	2	7	31	6.7%	9.3%	14.3%	5.2%	6.7%
富士山とことんガイド	10	1	1	5	17	3.7%	2.3%	7.1%	3.7%	3.7%
YouTube	48	5	2	21	76	17.9%	11.6%	14.3%	15.6%	16.5%
その他のウェブサイト	42	5	0	13	60	15.7%	11.6%	0.0%	9.6%	13.0%
チラシ	14	1	0	5	20	5.2%	2.3%	0.0%	3.7%	4.3%
雑誌	8	0	1	4	13	3.0%	0.0%	7.1%	3.0%	2.8%
その他	6	3	0	4	13	2.2%	7.0%	0.0%	3.0%	2.8%
計	268	43	14	135	460	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

見た媒体	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
富士登山オフィシャルサイト	169	135	64	11	379	82.0%	79.9%	75.3%	84.6%	80.1%
富士山世界文化遺産協議会ホームページ	13	11	5	2	31	6.3%	6.5%	5.9%	15.4%	6.6%
富士山とことんガイド	7	7	2	1	17	3.4%	4.1%	2.4%	7.7%	3.6%
YouTube	34	28	12	2	76	16.5%	16.6%	14.1%	15.4%	16.1%
その他のウェブサイト	25	18	15	2	60	12.1%	10.7%	17.6%	15.4%	12.7%
チラシ	6	10	4	0	20	2.9%	5.9%	4.7%	0.0%	4.2%
雑誌	3	4	6	0	13	1.5%	2.4%	7.1%	0.0%	2.7%
その他	6	4	4	0	14	2.9%	2.4%	4.7%	0.0%	3.0%
計	206	169	85	13	473	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑮ 混雑予想情報を見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

- ・混雑予想情報を登山前に見ていた人に、カレンダーあるいは動画を見た結果、自身の登山予定を変更したかどうかを尋ねたところ、「変更した（あり）」と回答した人は13.9%であった。これは、混雑予想情報を見ていなかった人も合わせた登山者全体からの割合で見ると4.7%となる。
- ・登山道別には、御殿場口での「変更した（あり）」とした回答割合がやや高く28.6%、次いで富士宮口14.1%、須走口14.0%、吉田口13.1%となっている。

表 混雑予想情報を見た上での登山予定の変更有無（見た人のみ）

予定の変更	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
変更した	35	6	4	19	64	13.1%	14.0%	28.6%	14.1%	13.9%
変更していない	233	37	10	116	396	86.9%	86.0%	71.4%	85.9%	86.1%
計	268	43	14	135	460	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

予定の変更	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
変更した	22	34	5	5	66	10.7%	20.1%	5.9%	38.5%	14.0%
変更していない	184	135	80	8	407	89.3%	79.9%	94.1%	61.5%	86.0%
計	206	169	85	13	473	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑯ 混雑予想情報を見た上での登山予定の変更内容（変更した人のみ）

- ・混雑予想情報を見た上で登山予定を変更した人を対象に、その変更内容を尋ねたところ、「登山日」が変更内容として最も多く75.0%、次いで「登山時間」28.1%、「登山道」9.4%と、登山日を変更した人が比較的多い結果となった。

表 混雑予想情報を見た上での登山予定の変更内容（変更した人のみ）

変更したこと	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
登山日	28	2	2	16	48	80.0%	33.3%	50.0%	84.2%	75.0%
時間	9	4	1	4	18	25.7%	66.7%	25.0%	21.1%	28.1%
登山道	0	2	2	2	6	0.0%	33.3%	50.0%	10.5%	9.4%
その他	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	35	6	4	19	64	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

変更したこと	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
登山日	11	31	3	5	50	50.0%	91.2%	60.0%	100.0%	75.8%
時間	10	4	3	1	18	45.5%	11.8%	60.0%	20.0%	27.3%
登山道	3	3	1	0	7	13.6%	8.8%	20.0%	0.0%	10.6%
その他	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	22	34	5	5	66	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 新しい登山マナー・新型コロナ感染予防対策について

① 新しい富士登山マナーの認知

- ・ 2021 年から始まった登山者に呼びかけられた新しい富士登山のマナーについて、「知っていた」人は約 3 割の 31.8%に留まった。

表 新しい富士登山マナーの認知

Withコロナ	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
知っていた	253	36	21	121	431	31.2%	29.3%	48.8%	32.0%	31.8%
知らなかった	557	87	22	257	923	68.8%	70.7%	51.2%	68.0%	68.2%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Withコロナ	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
知っていた	218	152	66	8	444	32.1%	33.6%	29.3%	22.2%	31.9%
知らなかった	461	300	159	28	948	67.9%	66.4%	70.7%	77.8%	68.1%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 新しい富士登山マナーの実践

- ・ 新しい富士登山マナーの実践について「できた」とした人は 59.4%、「まあまあできた」とした人は 37.4%で、ほとんどの登山者は新しい富士登山マナーで求められる感染症対策について一定程度配慮した登山を行っていたことが分かった。

表 新しい富士登山マナーの実践

新しい富士登山マナー	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
できた	153	20	11	72	256	60.5%	55.6%	52.4%	59.5%	59.4%
まあまあできた	91	15	9	46	161	36.0%	41.7%	42.9%	38.0%	37.4%
あまりできなかった	8	1	1	2	12	3.2%	2.8%	4.8%	1.7%	2.8%
できなかった	1	0	0	1	2	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	0.5%
計	253	36	21	121	431	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

新しい富士登山マナー	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
できた	123	94	43	4	264	56.4%	61.8%	65.2%	50.0%	59.5%
まあまあできた	90	51	20	4	165	41.3%	33.6%	30.3%	50.0%	37.2%
あまりできなかった	4	7	2	0	13	1.8%	4.6%	3.0%	0.0%	2.9%
できなかった	1	0	1	0	2	0.5%	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%
計	218	152	66	8	444	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 富士登山の安心感

- ・ コロナ下における富士登山の安心感について、登山全体に対して「安心できた」と回答した割合は42.6%、登山口50.7%、登山道54.1%、山頂33.5%、トイレ38.8%、山小屋29.6%の結果となった。
- ・ 「安心できた」と「やや安心できた」を合わせると、登山全体67.6%、登山口70.9%、登山道73.1%、山頂47.7%、トイレ56.6%、山小屋47.0%となっており、登山口・登山道に対しては7割強、山頂・トイレ・山小屋に対しては約半数程度の登山者が一定程度の安心感を感じており、登山全体では約3分の2の登山者が一定程度の安心感を感じている結果となった。
- ・ 一方、「やや不安を感じた」と「不安を感じた」を合わせた割合は、登山全体12.0%、登山口7.6%、登山道5.8%、山頂8.0%、トイレ7.1%、山小屋21.2%となった。

表 コロナに対する安心感

コロナに対する安心度	日本語					日本語					
	登山道					登山道					
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	
全体	安心できた	336	64	25	152	577	41.5%	52.0%	58.1%	40.2%	42.6%
	やや安心できた	214	33	4	88	339	26.4%	26.8%	9.3%	23.3%	25.0%
	ふつう	155	19	10	85	269	19.1%	15.4%	23.3%	22.5%	19.9%
	やや不安を感じた	83	5	3	39	130	10.2%	4.1%	7.0%	10.3%	9.6%
	不安を感じた	19	0	0	13	32	2.3%	0.0%	0.0%	3.4%	2.4%
	わからない	3	2	1	1	7	0.4%	1.6%	2.3%	0.3%	0.5%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
登山口	安心できた	401	78	31	176	686	49.5%	63.4%	72.1%	46.6%	50.7%
	やや安心できた	166	24	5	79	274	20.5%	19.5%	11.6%	20.9%	20.2%
	ふつう	179	15	3	88	285	22.1%	12.2%	7.0%	23.3%	21.0%
	やや不安を感じた	53	4	3	18	78	6.5%	3.3%	7.0%	4.8%	5.8%
	不安を感じた	9	0	0	16	25	1.1%	0.0%	0.0%	4.2%	1.8%
	わからない	2	2	1	1	6	0.2%	1.6%	2.3%	0.3%	0.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
登山道	安心できた	427	82	29	194	732	52.7%	66.7%	67.4%	51.3%	54.1%
	やや安心できた	149	19	3	86	257	18.4%	15.4%	7.0%	22.8%	19.0%
	ふつう	185	15	5	75	280	22.8%	12.2%	11.6%	19.8%	20.7%
	やや不安を感じた	37	4	5	20	66	4.6%	3.3%	11.6%	5.3%	4.9%
	不安を感じた	8	1	0	3	12	1.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.9%
	わからない	4	2	1	0	7	0.5%	1.6%	2.3%	0.0%	0.5%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	安心できた	277	46	17	113	453	34.2%	37.4%	39.5%	29.9%	33.5%
	やや安心できた	113	13	3	63	192	14.0%	10.6%	7.0%	16.7%	14.2%
	ふつう	123	19	5	55	202	15.2%	15.4%	11.6%	14.6%	14.9%
	やや不安を感じた	45	7	7	32	91	5.6%	5.7%	16.3%	8.5%	6.7%
	不安を感じた	9	3	1	5	18	1.1%	2.4%	2.3%	1.3%	1.3%
	わからない	243	35	10	110	398	30.0%	28.5%	23.3%	29.1%	29.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	安心できた	320	51	20	135	526	39.5%	41.5%	46.5%	35.7%	38.8%
	やや安心できた	144	22	6	69	241	17.8%	17.9%	14.0%	18.3%	17.8%
	ふつう	227	33	6	119	385	28.0%	26.8%	14.0%	31.5%	28.4%
	やや不安を感じた	70	9	4	24	107	8.6%	7.3%	9.3%	6.3%	7.9%
	不安を感じた	22	0	0	14	36	2.7%	0.0%	0.0%	3.7%	2.7%
	わからない	27	8	7	17	59	3.3%	6.5%	16.3%	4.5%	4.4%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	安心できた	262	38	9	92	401	32.3%	30.9%	20.9%	24.3%	29.6%
	やや安心できた	148	21	4	62	235	18.3%	17.1%	9.3%	16.4%	17.4%
	ふつう	156	21	3	80	260	19.3%	17.1%	7.0%	21.2%	19.2%
	やや不安を感じた	106	15	7	58	186	13.1%	12.2%	16.3%	15.3%	13.7%
	不安を感じた	65	6	0	30	101	8.0%	4.9%	0.0%	7.9%	7.5%
	わからない	73	22	20	56	171	9.0%	17.9%	46.5%	14.8%	12.6%
	計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

コロナに対する安心度		日本語					日本語				
		調査回					調査回				
		第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
全体	安心できた	278	214	93	12	597	40.9%	47.3%	41.3%	33.3%	42.9%
	やや安心できた	177	99	53	14	343	26.1%	21.9%	23.6%	38.9%	24.6%
	ふつう	142	88	43	6	279	20.9%	19.5%	19.1%	16.7%	20.0%
	やや不安を感じた	58	43	30	3	134	8.5%	9.5%	13.3%	8.3%	9.6%
	不安を感じた	19	6	6	1	32	2.8%	1.3%	2.7%	2.8%	2.3%
	わからない	5	2	0	0	7	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.5%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
登山口	安心できた	338	249	102	17	706	49.8%	55.1%	45.3%	47.2%	50.7%
	やや安心できた	133	94	41	10	278	19.6%	20.8%	18.2%	27.8%	20.0%
	ふつう	154	83	49	7	293	22.7%	18.4%	21.8%	19.4%	21.0%
	やや不安を感じた	36	18	25	2	81	5.3%	4.0%	11.1%	5.6%	5.8%
	不安を感じた	11	7	7	0	25	1.6%	1.5%	3.1%	0.0%	1.8%
	わからない	7	1	1	0	9	1.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.6%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
登山道	安心できた	351	269	118	17	755	51.7%	59.5%	52.4%	47.2%	54.2%
	やや安心できた	136	73	45	9	263	20.0%	16.2%	20.0%	25.0%	18.9%
	ふつう	145	89	48	6	288	21.4%	19.7%	21.3%	16.7%	20.7%
	やや不安を感じた	36	16	11	4	67	5.3%	3.5%	4.9%	11.1%	4.8%
	不安を感じた	6	3	3	0	12	0.9%	0.7%	1.3%	0.0%	0.9%
	わからない	5	2	0	0	7	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.5%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山頂	安心できた	218	198	38	8	462	32.1%	43.8%	16.9%	22.2%	33.2%
	やや安心できた	107	69	11	9	196	15.8%	15.3%	4.9%	25.0%	14.1%
	ふつう	120	68	19	5	212	17.7%	15.0%	8.4%	13.9%	15.2%
	やや不安を感じた	59	26	5	2	92	8.7%	5.8%	2.2%	5.6%	6.6%
	不安を感じた	10	3	3	2	18	1.5%	0.7%	1.3%	5.6%	1.3%
	わからない	165	88	149	10	412	24.3%	19.5%	66.2%	27.8%	29.6%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トイレ	安心できた	257	203	69	13	542	37.8%	44.9%	30.7%	36.1%	38.9%
	やや安心できた	125	76	37	7	245	18.4%	16.8%	16.4%	19.4%	17.6%
	ふつう	195	119	65	14	393	28.7%	26.3%	28.9%	38.9%	28.2%
	やや不安を感じた	52	30	27	0	109	7.7%	6.6%	12.0%	0.0%	7.8%
	不安を感じた	14	9	13	1	37	2.1%	2.0%	5.8%	2.8%	2.7%
	わからない	36	15	14	1	66	5.3%	3.3%	6.2%	2.8%	4.7%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
山小屋	安心できた	192	154	58	7	411	28.3%	34.1%	25.8%	19.4%	29.5%
	やや安心できた	114	88	33	6	241	16.8%	19.5%	14.7%	16.7%	17.3%
	ふつう	132	84	39	8	263	19.4%	18.6%	17.3%	22.2%	18.9%
	やや不安を感じた	101	57	27	6	191	14.9%	12.6%	12.0%	16.7%	13.7%
	不安を感じた	43	22	33	3	101	6.3%	4.9%	14.7%	8.3%	7.3%
	わからない	97	47	35	6	185	14.3%	10.4%	15.6%	16.7%	13.3%
	計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(6) 自由記述内容の整理

① 危険を感じた内容「その他」

- ・ 登山時に感じた危険を選択肢から回答する設問で「その他」を選択し、具体的内容を自由記述で記載した人の回答について、内容ごとに分類・集計を行った。
- ・ その結果、調査日に荒天時が重なったことから「天候、時間、空気の薄さ、寒さ」といった環境面を上げる声が多く挙がった。

表 危険を感じた内容「その他」の分類結果

危険を感じた内容「その他」における自由記述	回答数	割合
落石	10	3.1%
岩場、砂利、段差	28	8.6%
転倒、滑る	39	12.0%
整備（道・ロープ・柵）	11	3.4%
混雑、渋滞	1	0.3%
マナー（追い越し、ペース、走行、ルート外れ）	13	4.0%
マナー（軽装、装備）	10	3.1%
マナー（知識、ルール、モラル等）	14	4.3%
外国人	1	0.3%
高山病、体調、体力	39	12.0%
天候、時間、空気の薄さ、寒さ	202	62.3%
新型コロナウイルス	2	0.6%
その他	44	13.6%
質問から外れた回答（満足など）	4	1.2%
なし&不明	3	0.9%
合計（自由記述に記載をした人）	324	100.0%

② 富士登山における不満・改善を求める事項

- ・ 富士登山における不満・改善を求める事項について自由記述で回答された結果について、内容ごとに分類・集計を行った。
- ・ 不満・改善を求める事項として挙げた内容は、多い順に「施設・設備（トイレ）」14.9%、「施設・設備（山小屋）」13.7%、「施設・設備（その他）」11.4%となった。

表 富士登山における不満・改善を求める事項の分類結果

	富士登山における不満・改善における自由記述	回答数	割合
サービス	登山道	38	5.0%
	施設・設備_山小屋	105	13.7%
	施設・設備_トイレ	114	14.9%
	施設・設備_その他	87	11.4%
	交通	28	3.7%
	情報提供	57	7.4%
	対応_ガイド	13	1.7%
	対応_山小屋	73	9.5%
	対応_新型コロナウイルス	23	3.0%
	対応_その他	24	3.1%
	価格	28	3.7%
環境	ゴミ	22	2.9%
	タバコ	18	2.3%
利用者	混雑	15	2.0%
	マナー_全般	55	7.2%
	マナー_外国人	11	1.4%
	利用法の違い	35	4.6%
その他	協力金・規制	19	2.5%
	その他	98	12.8%
	質問から外れた回答（満足など）	82	10.7%
	なし&不明	94	12.3%
	合計（自由記述に記載をした人）	766	100.0%

(7) 回答者属性

① 性別

- ・ 回答者の性別は以下の通り。

表 性別

性別	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
男性	436	78	38	237	789	53.8%	63.9%	88.4%	63.2%	58.4%
女性	374	44	5	138	561	46.2%	36.1%	11.6%	36.8%	41.6%
不明	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	810	122	43	375	1350	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
男性	414	237	136	25	812	61.0%	52.4%	60.4%	69.4%	58.3%
女性	264	212	89	11	576	38.9%	46.9%	39.6%	30.6%	41.4%
不明	1	3	0	0	4	0.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.3%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 年代

- ・ 回答者の年代は、以下の通り。

表 年代

年代	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
10歳代	23	1	1	12	37	2.8%	0.8%	2.3%	3.2%	2.7%
20歳代	169	24	3	71	267	20.9%	19.7%	7.0%	18.9%	19.8%
30歳代	119	14	6	59	198	14.7%	11.5%	14.0%	15.7%	14.7%
40歳代	184	37	16	79	316	22.7%	30.3%	37.2%	21.0%	23.4%
50歳代	195	31	10	100	336	24.1%	25.4%	23.3%	26.6%	24.9%
60歳代	107	14	5	44	170	13.2%	11.5%	11.6%	11.7%	12.6%
70歳代以上	12	1	2	11	26	1.5%	0.8%	4.7%	2.9%	1.9%
不明	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	809	122	43	376	1350	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年代	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
10歳代	16	15	6	1	38	2.4%	3.3%	2.7%	2.8%	2.7%
20歳代	157	67	43	6	273	23.1%	14.8%	19.1%	16.7%	19.6%
30歳代	100	56	38	10	204	14.7%	12.4%	16.9%	27.8%	14.7%
40歳代	165	95	58	7	325	24.3%	21.0%	25.8%	19.4%	23.3%
50歳代	175	108	54	11	348	25.8%	23.9%	24.0%	30.6%	25.0%
60歳代	58	92	24	0	174	8.5%	20.4%	10.7%	0.0%	12.5%
70歳代以上	6	17	2	1	26	0.9%	3.8%	0.9%	2.8%	1.9%
不明	2	2	0	0	4	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 居住地

- ・ 回答者の居住地は以下の通り。

表 居住地

居住地	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
北海道	9	0	0	6	15	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	1.1%
青森県	1	0	0	2	3	0.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%
岩手県	1	0	0	1	2	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
宮城県	12	1	0	1	14	1.5%	0.8%	0.0%	0.3%	1.0%
秋田県	4	0	0	1	5	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%
山形県	5	0	0	1	6	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%
福島県	8	2	0	3	13	1.0%	1.6%	0.0%	0.8%	1.0%
茨城県	19	3	1	10	33	2.3%	2.4%	2.3%	2.6%	2.4%
栃木県	6	0	0	0	6	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
群馬県	12	1	0	0	13	1.5%	0.8%	0.0%	0.0%	1.0%
埼玉県	71	4	3	19	97	8.8%	3.3%	7.0%	5.0%	7.2%
千葉県	45	10	3	29	87	5.6%	8.1%	7.0%	7.7%	6.4%
東京都	205	30	6	55	296	25.3%	24.4%	14.0%	14.6%	21.9%
神奈川県	72	22	8	34	136	8.9%	17.9%	18.6%	9.0%	10.0%
新潟県	4	1	0	0	5	0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%
富山県	1	1	0	2	4	0.1%	0.8%	0.0%	0.5%	0.3%
石川県	2	0	0	1	3	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%
福井県	0	0	0	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%
山梨県	15	0	1	0	16	1.9%	0.0%	2.3%	0.0%	1.2%
長野県	9	0	0	2	11	1.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%
岐阜県	10	0	0	4	14	1.2%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%
静岡県	13	10	8	38	69	1.6%	8.1%	18.6%	10.1%	5.1%
愛知県	39	6	3	38	86	4.8%	4.9%	7.0%	10.1%	6.4%
三重県	13	0	1	3	17	1.6%	0.0%	2.3%	0.8%	1.3%
滋賀県	10	0	0	4	14	1.2%	0.0%	0.0%	1.1%	1.0%
京都府	17	1	1	16	35	2.1%	0.8%	2.3%	4.2%	2.6%
大阪府	72	13	4	35	124	8.9%	10.6%	9.3%	9.3%	9.2%
兵庫県	45	2	0	28	75	5.6%	1.6%	0.0%	7.4%	5.5%
奈良県	4	2	0	8	14	0.5%	1.6%	0.0%	2.1%	1.0%
和歌山県	1	0	0	3	4	0.1%	0.0%	0.0%	0.8%	0.3%
鳥取県	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島根県	2	0	0	0	2	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
岡山県	3	2	0	1	6	0.4%	1.6%	0.0%	0.3%	0.4%
広島県	12	4	1	6	23	1.5%	3.3%	2.3%	1.6%	1.7%
山口県	2	0	1	1	4	0.2%	0.0%	2.3%	0.3%	0.3%
徳島県	0	0	1	2	3	0.0%	0.0%	2.3%	0.5%	0.2%
香川県	1	0	0	5	6	0.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.4%
愛媛県	3	0	0	2	5	0.4%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%
高知県	3	0	0	0	3	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
福岡県	22	0	0	7	29	2.7%	0.0%	0.0%	1.9%	2.1%
佐賀県	1	2	0	0	3	0.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.2%
長崎県	4	0	0	2	6	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%
熊本県	5	3	0	2	10	0.6%	2.4%	0.0%	0.5%	0.7%
大分県	4	0	0	0	4	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
宮崎県	3	0	0	0	3	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
鹿児島県	8	0	0	1	9	1.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.7%
沖縄県	4	2	0	0	6	0.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.4%
不明	8	1	1	4	14	1.0%	0.8%	2.3%	1.1%	1.0%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

居住地	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
北海道	7	6	1	1	15	1.0%	1.3%	0.4%	2.8%	1.1%
青森県	1	1	1	0	3	0.1%	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%
岩手県	0	0	2	0	2	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.1%
宮城県	6	4	4	0	14	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	1.0%
秋田県	0	5	0	0	5	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.4%
山形県	5	0	1	0	6	0.7%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
福島県	8	4	1	1	14	1.2%	0.9%	0.4%	2.8%	1.0%
茨城県	21	9	4	0	34	3.1%	2.0%	1.8%	0.0%	2.4%
栃木県	2	3	1	0	6	0.3%	0.7%	0.4%	0.0%	0.4%
群馬県	11	3	1	0	15	1.6%	0.7%	0.4%	0.0%	1.1%
埼玉県	48	37	10	2	97	7.1%	8.2%	4.4%	5.6%	7.0%
千葉県	49	20	17	2	88	7.2%	4.4%	7.6%	5.6%	6.3%
東京都	147	95	57	4	303	21.6%	21.0%	25.3%	11.1%	21.8%
神奈川県	72	46	20	7	145	10.6%	10.2%	8.9%	19.4%	10.4%
新潟県	5	1	0	0	6	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%
富山県	0	1	3	0	4	0.0%	0.2%	1.3%	0.0%	0.3%
石川県	2	1	0	0	3	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%
福井県	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%
山梨県	6	8	3	0	17	0.9%	1.8%	1.3%	0.0%	1.2%
長野県	5	6	1	0	12	0.7%	1.3%	0.4%	0.0%	0.9%
岐阜県	9	3	2	0	14	1.3%	0.7%	0.9%	0.0%	1.0%
静岡県	37	21	4	8	70	5.4%	4.6%	1.8%	22.2%	5.0%
愛知県	44	25	14	4	87	6.5%	5.5%	6.2%	11.1%	6.3%
三重県	6	7	4	0	17	0.9%	1.5%	1.8%	0.0%	1.2%
滋賀県	4	8	0	2	14	0.6%	1.8%	0.0%	5.6%	1.0%
京都府	13	12	9	1	35	1.9%	2.7%	4.0%	2.8%	2.5%
大阪府	72	20	32	2	126	10.6%	4.4%	14.2%	5.6%	9.1%
兵庫県	37	28	9	1	75	5.4%	6.2%	4.0%	2.8%	5.4%
奈良県	6	6	2	0	14	0.9%	1.3%	0.9%	0.0%	1.0%
和歌山県	1	3	0	0	4	0.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.3%
鳥取県	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島根県	1	0	2	0	3	0.1%	0.0%	0.9%	0.0%	0.2%
岡山県	3	2	1	0	6	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%
広島県	8	12	3	0	23	1.2%	2.7%	1.3%	0.0%	1.7%
山口県	2	2	0	0	4	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%
徳島県	2	1	0	0	3	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%
香川県	5	0	1	0	6	0.7%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
愛媛県	1	5	0	0	6	0.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.4%
高知県	2	2	0	0	4	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.3%
福岡県	8	16	7	1	32	1.2%	3.5%	3.1%	2.8%	2.3%
佐賀県	2	0	1	0	3	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%
長崎県	2	3	1	0	6	0.3%	0.7%	0.4%	0.0%	0.4%
熊本県	3	6	1	0	10	0.4%	1.3%	0.4%	0.0%	0.7%
大分県	2	1	2	0	5	0.3%	0.2%	0.9%	0.0%	0.4%
宮崎県	0	3	0	0	3	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%
鹿児島県	4	5	0	0	9	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.6%
沖縄県	2	6	0	0	8	0.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.6%
不明	0	0	0	0	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 職業

- ・ 回答者の職業は以下の通り。

表 職業

職業	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
学生	57	4	2	33	96	7.1%	3.3%	4.8%	8.8%	7.1%
会社員・公務員	546	89	29	267	931	67.6%	72.4%	69.0%	70.8%	69.0%
自営業	77	9	7	28	121	9.5%	7.3%	16.7%	7.4%	9.0%
その他	128	21	4	49	202	15.8%	17.1%	9.5%	13.0%	15.0%
不明	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	808	123	42	377	1350	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

職業	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
学生	37	38	19	5	99	5.4%	8.4%	8.4%	13.9%	7.1%
会社員・公務員	525	241	169	23	958	77.3%	53.3%	75.1%	63.9%	68.8%
自営業	52	57	12	5	126	7.7%	12.6%	5.3%	13.9%	9.1%
その他	64	113	25	3	205	9.4%	25.0%	11.1%	8.3%	14.7%
不明	1	3	0	0	4	0.1%	0.7%	0.0%	0.0%	0.3%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 登山経験

- ・ 回答者の登山経験は、以下の通り。

表 登山経験

登山経験	日本語					日本語				
	登山道					登山道				
	吉田	須走	御殿場	富士宮	計	吉田	須走	御殿場	富士宮	計
初心者	371	35	9	148	563	45.8%	28.5%	20.9%	39.2%	41.6%
2～3年	195	23	7	64	289	24.1%	18.7%	16.3%	16.9%	21.3%
4～9年	112	34	10	85	241	13.8%	27.6%	23.3%	22.5%	17.8%
10年以上	132	31	17	81	261	16.3%	25.2%	39.5%	21.4%	19.3%
計	810	123	43	378	1354	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

登山経験	日本語					日本語				
	調査回					調査回				
	第1期	第2期	第3期	その他	計	第1期	第2期	第3期	その他	計
初心者	279	192	87	14	572	41.1%	42.5%	38.7%	38.9%	41.1%
2～3年	134	92	64	7	297	19.7%	20.4%	28.4%	19.4%	21.3%
4～9年	142	75	34	6	257	20.9%	16.6%	15.1%	16.7%	18.5%
10年以上	124	93	40	9	266	18.3%	20.6%	17.8%	25.0%	19.1%
計	679	452	225	36	1392	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 富士山の適正な収容力及び来訪者管理等に係る分析・提案

(1) 指標・水準の達成状況の評価・検証

- ・ 来訪者管理戦略で掲げられた「『望ましい富士登山の在り方』を実現するための指標・水準」の中で、モニタリング方法が登山者アンケート調査による項目の調査結果（経年）を以下に示す。なお、グラフ中の青色が調査結果であり、橙色が定められた水準である。
- ・ 各指標の今夏の計測結果及び経年変化については以下で順番に示していくが、「登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合」及び「山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合」は、2019年と比較して2021～22年の実績値が大幅に減少した。これは、他要因による影響も否定はできないが、コロナによって登山者数が大幅に減少したことの影響があったことが推察される。また、「夏山期間を通じて著しい混雑が発生する登山者数／日を超えた日数」も吉田口、富士宮口双方において2021～22年ともに「0日」となっており、全体の登山者数が減少したこと等が要因の一つとして想定される。
- ・ また、指標の計測結果については、既存の取組の成果に加えて、2021年に引き続き今夏は新型コロナウイルス感染症による登山控えの影響によって登山者数が減少あるいは分散したことも指標値の変化に大きく影響したことが想定される。今後は、コロナ後の状況を踏まえ、中長期的に「望ましい富士登山の在り方」を実現するため、既存施策の効果検証を行いながら更なる継続・強化を図っていくことが求められる。

i) 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合

- ・ 今夏の調査結果は「88.8%」となり、前年に引き続き、目標値を達成した。過去の推移を見ると、2015-2016年がやや低く、2017年以降は目標値付近で概ね横ばいに推移していたが、今夏において再び上昇に転じた状況である。
- ・ なお、このデータは「山頂で御来光を拝む登山者」を分母として、その中で「山小屋で宿泊した」と回答した人の割合を計算した結果である点に留意する必要がある。

図表 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合



[目標値 80%以上]

ii) 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合

- ・ 今夏の調査結果は「42.5%」となり、調査開始以来、目標値の50%以上には達していない状況である。過去の推移を見てみると、ほぼ横ばいに推移しており、文化的伝統を知っている登山者の割合が最も高かったのは2017年の47.0%となっている。
- ・ なお、登山の文化的伝統の継承にあたっては、案内所等の運営などによる「山麓からの登山の推奨」や、体験ツアーの実施などによる「山麓の構成資産の周遊促進」といった対策が実施されている。

図表 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合



[目標値 50%以上]

iii) 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合

- ・ 今夏の調査結果は「86.6%」となり、目標値の90%以上に達しなかった。過去の推移を見てみると、ほぼ横ばいに推移しており、「神聖さ」を感じた登山者の割合が最も高かったのは昨夏の88.3%で、いずれも目標値を達成していない。
- ・ ただし、今夏の結果については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて登山者数が全体的に少なかった影響を受けている可能性もあり、次年度以降の値の動きを注視する必要がある。

図表 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合



[目標値 90%以上]

iv) 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合

- 本調査項目は、2016年より計測が開始された項目である。
- 今夏の調査結果は「14.0%」となり、年を経るごとに徐々に良化（ゴミを見かける登山者が減少）する傾向にあり、初めて目標値である15%以下には達した。
- ただし、今夏の結果については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて登山者数が全体的に少なかった影響を受けている可能性もあり、次年度以降の値の動きを注視する必要がある。
- なお、ゴミを登山中に捨てないためのマナー周知については、指標の目標値達成のためには、よりゴミのポイ捨てに関連した対策の強調・強化も必要であると考えられる。

図表 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合



[目標値 15%以下]

v) 山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合

- ・ 山小屋に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合の今夏の調査結果は「12.6%」と、過去の結果と比べて大幅に値が良化（不満を感じた登山者が減少）した昨夏と比べるとやや値が上昇したものの、目標値である15%以下は達成した。
- ・ また、トイレに不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合の調査結果も「11.2%」とこちらも大幅に良化（不満を感じた登山者が減少）した昨夏ほどではないが、目標値である15%以下を達成している。
- ・ いずれの結果も、今夏は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて登山者数が全体的に少なかった影響を受けている可能性や、同感染症の拡大を受けて各山小屋やトイレにおいて感染症対策を目的に例年よりも清掃をこまめに行ったり、利用人数の制限・分散を行った結果が影響している可能性がある。そのため、次年度以降の値の動きを注視する必要がある。

図表 山小屋に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合



図表 トイレに不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合



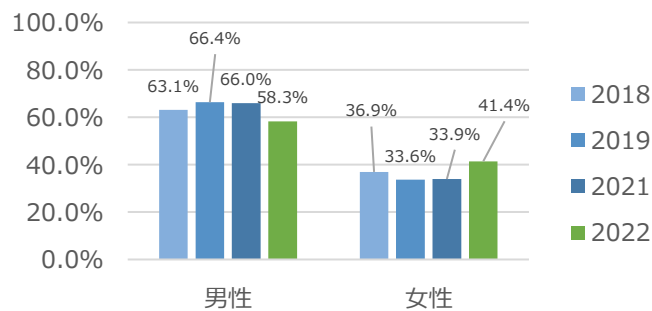
(2) 登山者属性の経年変化

- ・今夏の富士登山は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、富士登山者に限らず登山やアウトドア活動を行う母集団自体の傾向が例年と異なり、その傾向の違いによって指標値あるいは他設問の回答結果に例年との違いが出ている可能性がある。
- ・そのため、まず本節では、今夏の登山者属性に例年と比較して大きな変化がないかを確認する。

① 性別

- ・男性と女性の比率は、過去3年と比較して大きな変化ではないものの、2022年はやや男性の割合が減少し、男性6割弱・女性4割強の割合となった。
- ・ただし、本結果はアンケート協力者の属性であり、富士登山者全体をそのまま捉えた結果ではない点に留意してみる必要がある（以下、他属性についても同様）。

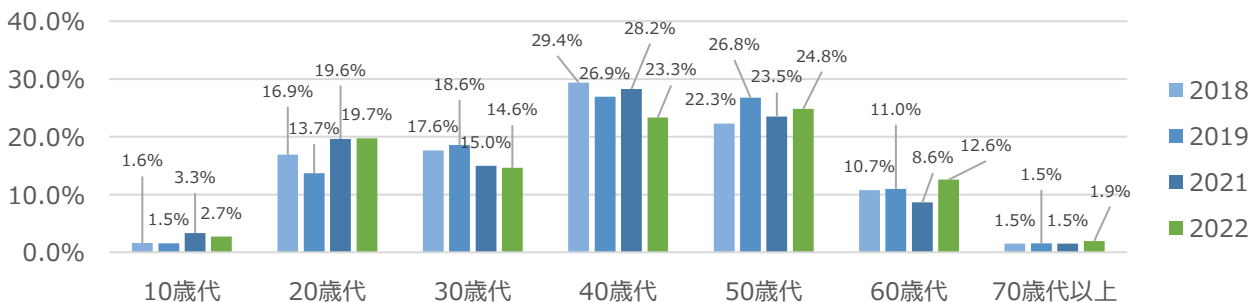
図 性別の経年変化



② 年代

- ・年代について、大きな傾向の違いはない。2022年は50代が最も多く、次いで40代、20代、30代の順となっている。
- ・40代、50代が上位を占める結果は過去と同様であるが、過去と比較すると2022年はやや50代以上の割合が高まっており、その分40代の割合が減少していた。

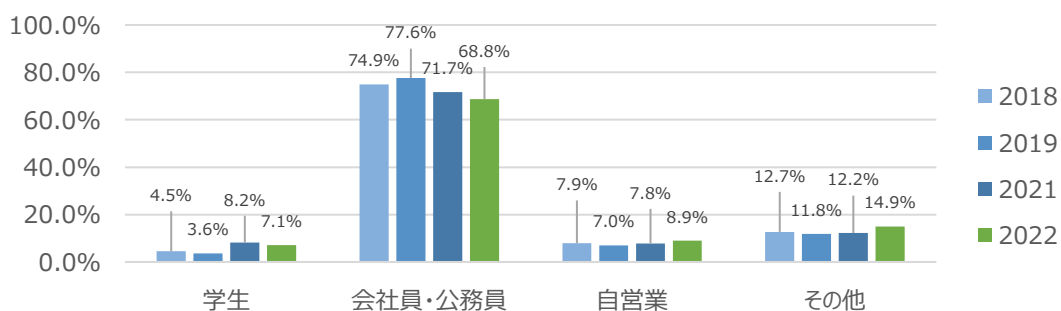
図 年代の経年変化



③ 職業

- ・ 職業は「会社員、公務員」が多数を占め、この結果は2022年も過去3年も変わらない。

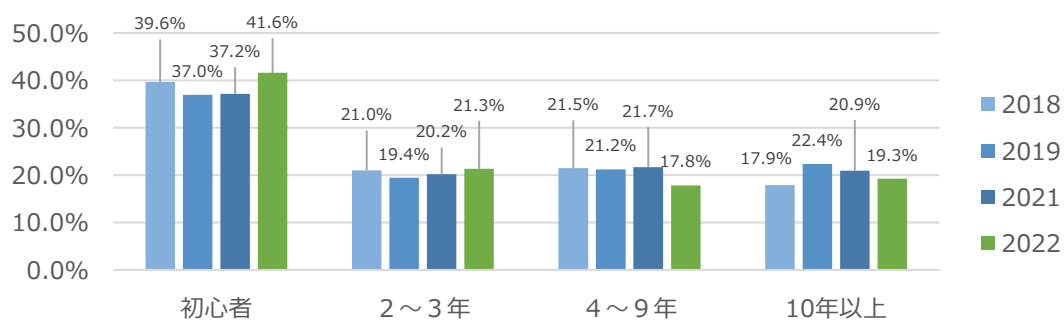
図 職業の経年変化



④ 登山経験

- ・ 富士山に限らない全般的な登山経験について2022年は、「初心者」が最も多く約4割、それ以外の「2～3年」「4～9年」「10年以上」はいずれも同程度の結果となった。この傾向は、過去2年と大きく変わらない。

図 登山経験の経年変化



(3) 登山者属性による回答傾向の分析

① 伝統的な登拝の登山形態と同様に、山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合

- 山小屋で休息してから山頂でご来光を拝む登山者の割合は、例年、男性よりも女性の方がやや高く、2022年においても女性の方が約1割高い結果となった。ただし、男女比は経年で大きく変化していないため、コロナ下による属性（性別）変化が指標値の変化に繋がったとは言えない。
- 年代間の回答傾向の違いは、例年、あまり大きくない。ただし同年代の中で60代が2021年に引き続き2022年も山小屋での宿泊割合がやや上がっており、コロナ下を受けてより慎重な行動を取った可能性がある。
- 登山経験別には、例年、登山経験が短いほどやや宿泊割合が上がる傾向があったが、2022年については10年以上の登山経験の登山者も他の登山者と同程度の宿泊割合まで割合が上がっており、昨年における宿泊回避傾向は2022年は見られていない。

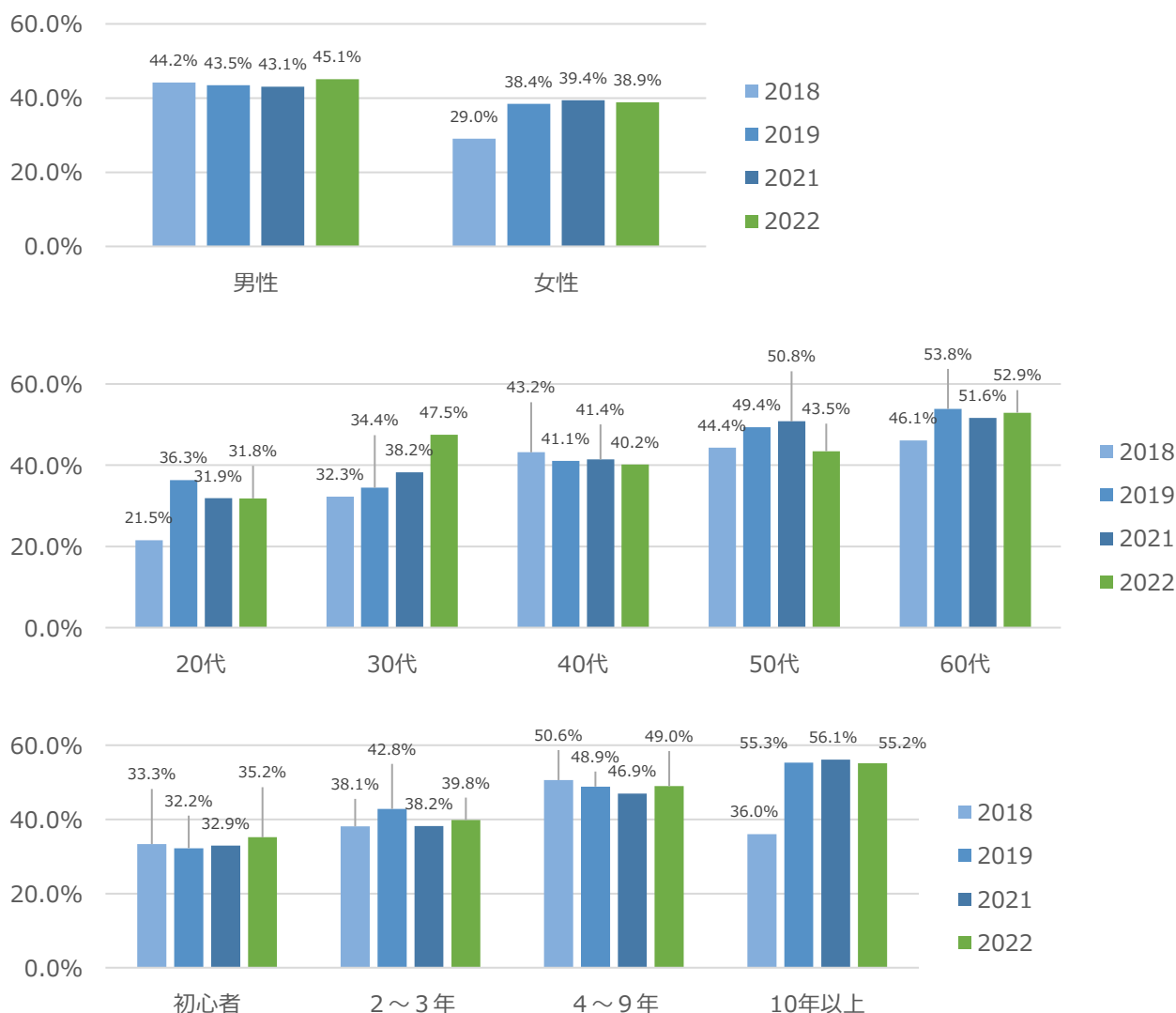
図 山小屋で休息してから山頂で御来光を拝む登山者の割合（経年変化・属性別）



② 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合

- 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っていると回答した登山者の割合は、例年、女性よりも男性の方がやや高くなっており、その傾向は2022年も変わっていない。男女比も経年で大きく変化していないため、コロナ下による属性（性別）変化が指標値の変化に繋がったとは言えない。
- 年代間の回答傾向の違いは、例年、年代が上がるほど「知っている」と回答する傾向が高く、この傾向は2022年においても同様であった。そのため、本指標値の改善においては、値の低い若年層に向けて、同層に適した発信方法で情報を伝えていくことが求められる。
- 登山経験別には、例年、登山経験が長いほど認知が上がる傾向がある（2018年の「10年以上」の結果以外）。この傾向は2022年においても同様で、上述の内容と合わせて「登山経験の短い」「若年層」向けの認知の向上が今後の課題と捉えられる。

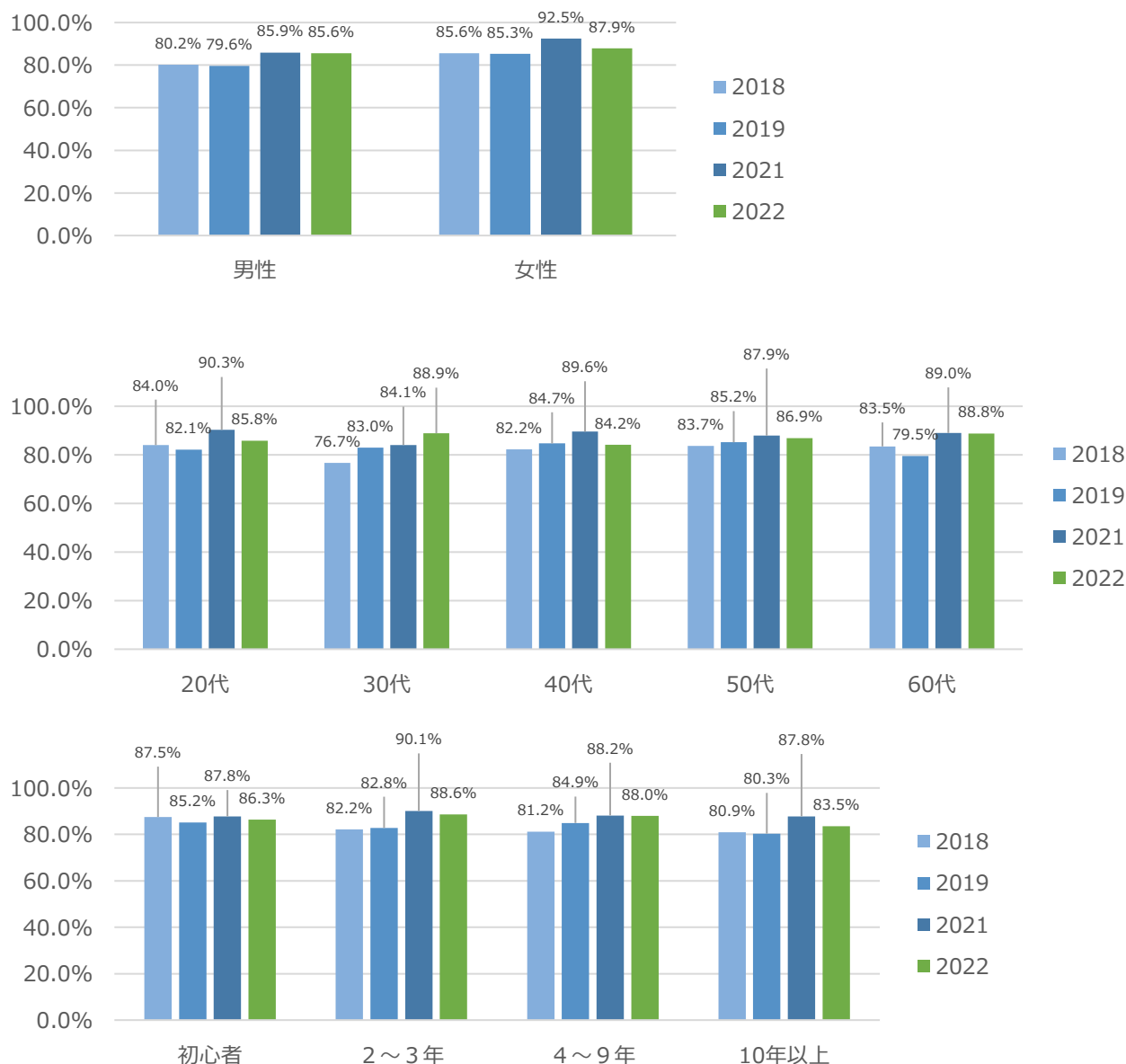
図 山麓の神社や湖などを巡ったのちに富士登山をする文化的伝統を知っている登山者の割合（経年変化・属性別）



③ 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合

- ・ 富士山に神聖さを感じた登山者の割合は、例年、男性よりも女性の方が若干高くなっているが、2022年は女性の方が2.1ポイント高く、その差はわずかになっている。また、男女比も経年で大きく変化していないため、コロナ下による属性（性別）変化が指標値の変化に繋がったとは言えない。
- ・ 年代間の回答傾向の違いは、例年、あまり大きくない。また、2022年は、いずれ年代の回答傾向もほぼ例年並みとなっている。
- ・ 登山経験間の回答傾向の違いも、例年、あまり大きくない。また、2022年は、いずれ年代の回答傾向もほぼ例年並みとなっている。

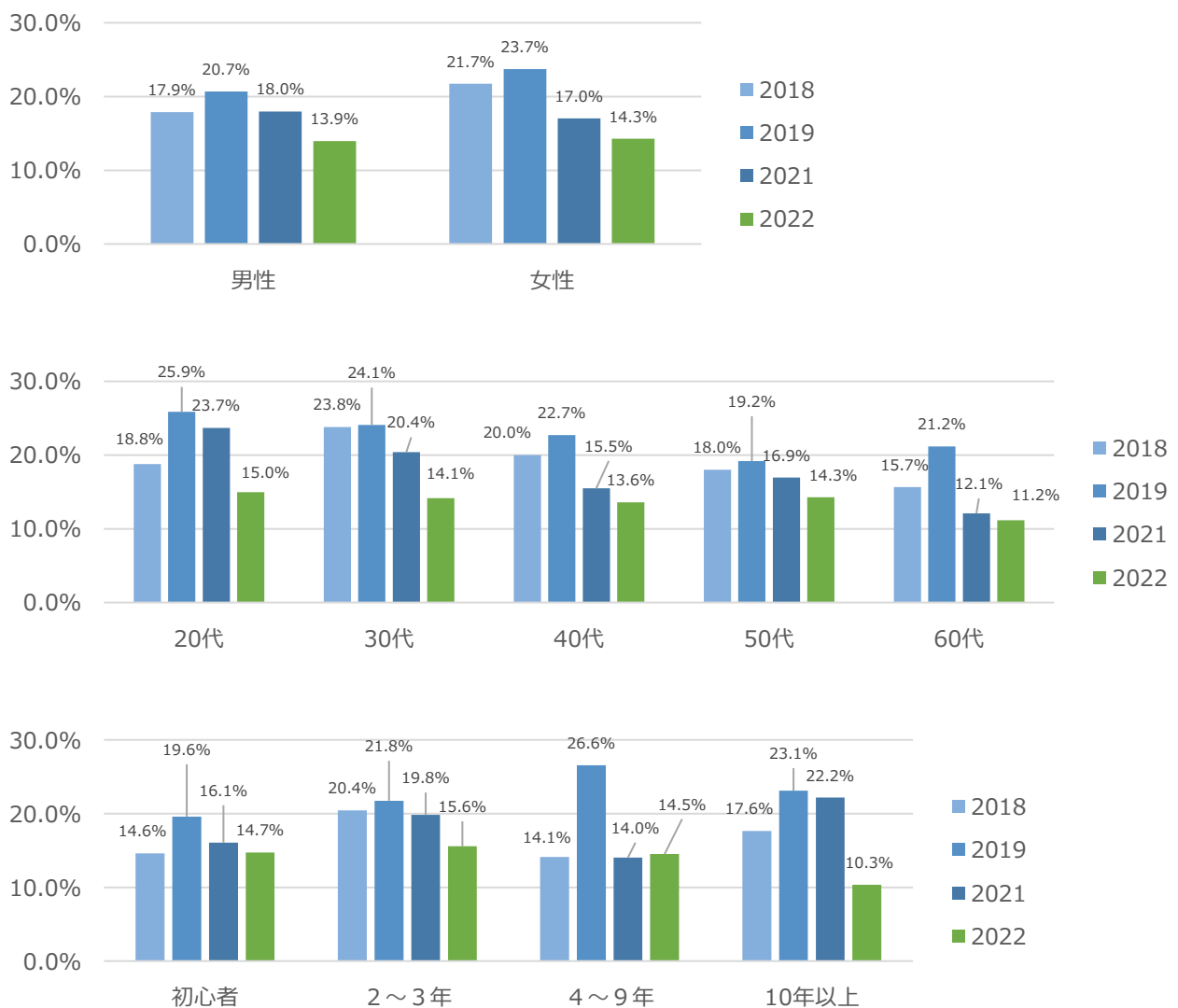
図 富士山に「神聖さ」を感じた登山者の割合（経年変化・属性別）



④ 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合

- ・ 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合は、コロナ前まで男性よりも女性の方がやや高くなっており、2021年、2022年はほぼ同割合となった。また、男女比は経年で大きく変化していないため、コロナ下による属性（性別）変化が指標値の変化に繋がったとは言えない。
- ・ 年代間の回答傾向の違いは、例年、年代が若い方が「ゴミを見かけた」とする割合が高く、その傾向は2022年も概ね同様であった。
- ・ 登山経験別の結果は、例年、まちまちであり、属性（登山経験）による傾向の違いを見出すことは難しい。

図 登山道や山頂付近でゴミをよく見かけた登山者の割合（経年変化・属性別）



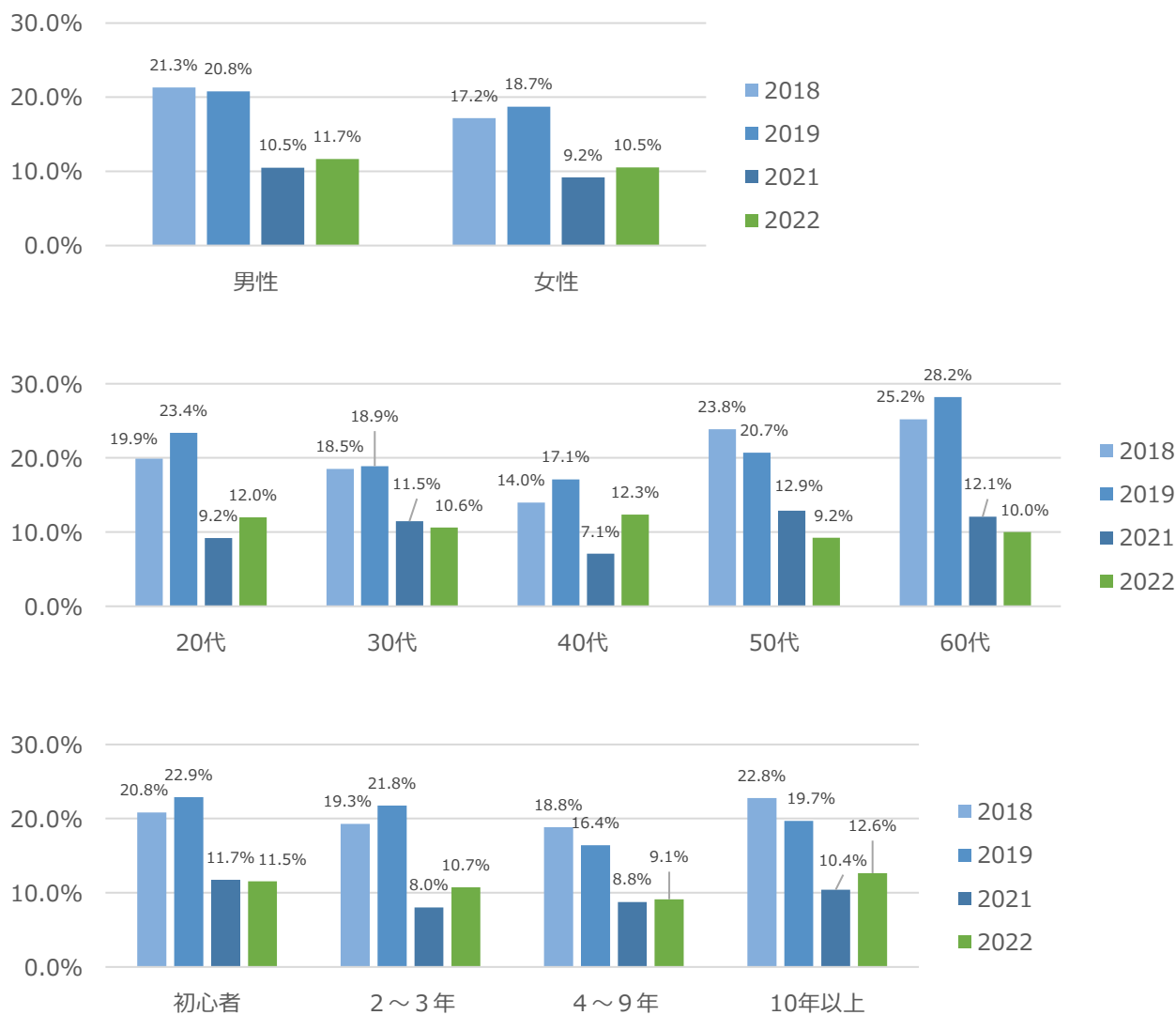
⑤ 山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合

- 山小屋やトイレなどの登山者への支援施設に不満を感じた登山者の割合は、例年、女性よりも男性の方がやや高く、2022年においても傾向は同様であった。ただし、男女比は経年で大きく変化していないため、コロナ下による属性（性別）変化が指標値の変化に繋がったとは言えない。
- 年代間の回答傾向の違いは、例年、年代が高い方が不満を感じた割合がやや高い傾向にあったが、2022年はあまり年代による違いは見られなかった。
- 登山経験別には、例年、登山経験によって回答傾向が異なる傾向が、2021年、2022年は経験別の回答結果の違いが少なく、また不満もやや少ない結果となった。

図 不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合（山小屋）（経年変化・属性別）



図 不満を感じた登山者（とても不満+やや不満）の割合（トイレ）（経年変化・属性別）



⑥ 登山時における混雑感

- ・ 登山時における混雑感を感じる割合は、登山道・トイレにおいて、例年、男性よりも女性の方がやや高く、山頂・山小屋における混雑感はそれほど変わらなかった。一方、2022年は2021年に引き続き、全体的には大きく割合が減少したものの、男女間ではいずれの場面における混雑感においても男性の方が高くなった（山小屋以外）。
- ・ 年代別には、多くの項目で例年、若年層ほどより混雑感を感じている傾向にあった。この傾向は、今回についても大きく変わっていない。また、登山経験別にみても、年代間ほどではないものの多くの項目で経験が浅いほどやや混雑を感じる結果となっており、2022年も同様となった。

図 登山時における混雑感（とても混雑+やや混雑の割合）（登山道）（経年変化・属性別）

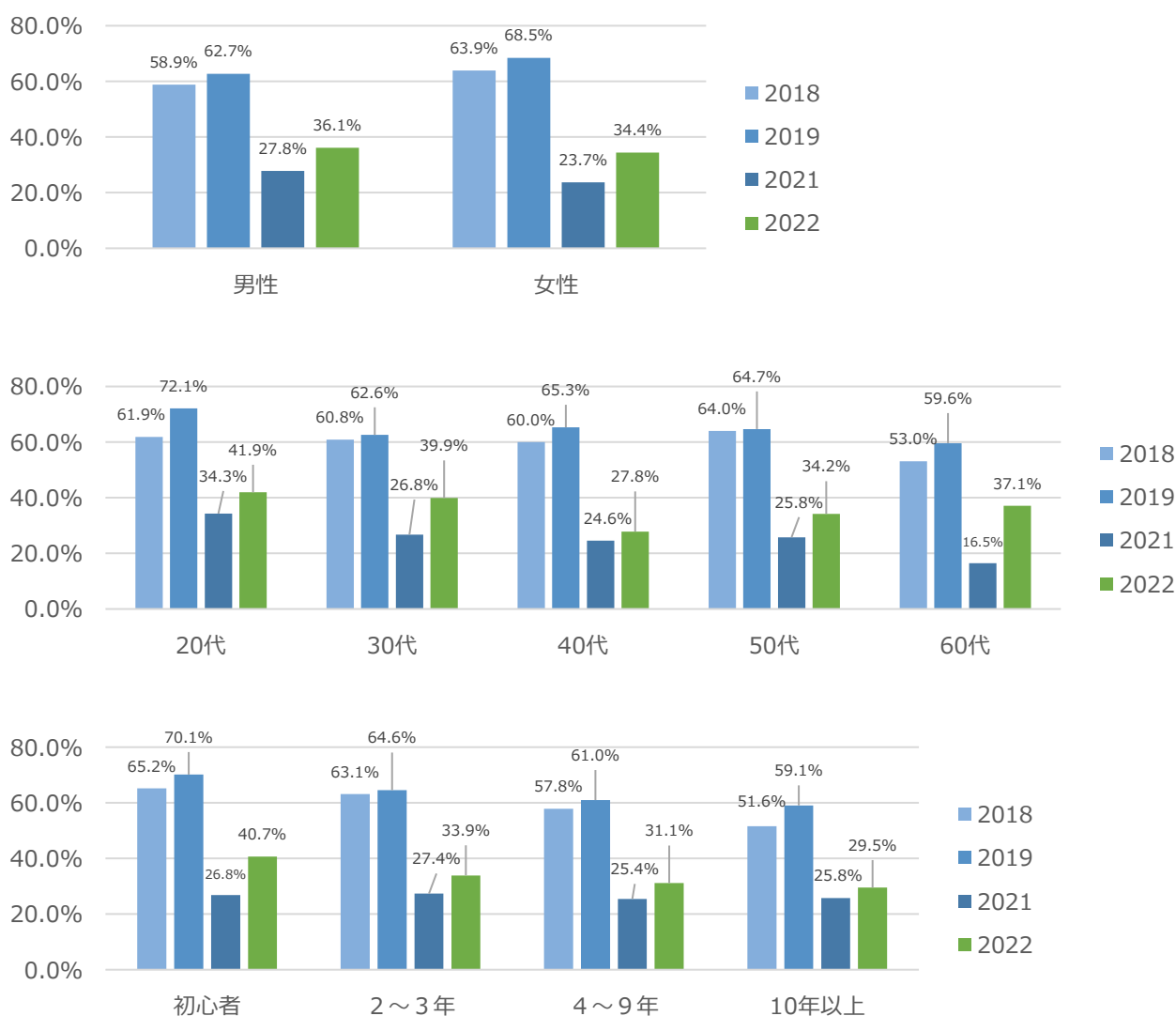


図 登山時における混雑感（とても混雑+やや混雑の割合）（山頂）（経年変化・属性別）

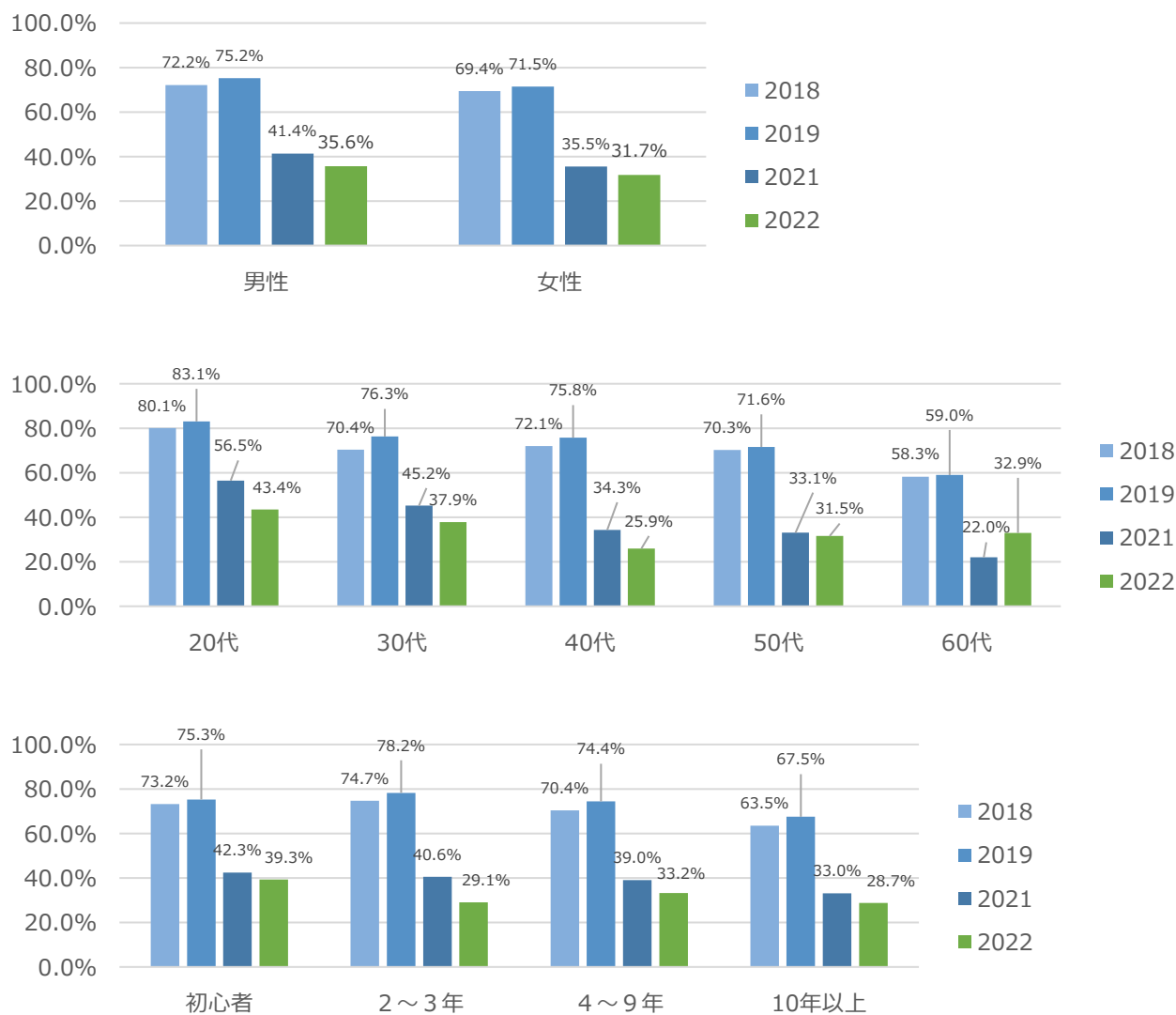


図 登山時における混雑感（とても混雑+やや混雑の割合）（山小屋）（経年変化・属性別）



図 登山時における混雑感（とても混雑+やや混雑の割合）（トイレ）（経年変化・属性別）



⑦ 登山道の混雑における許容度

- ・ 登山道の混雑における許容度において許容できない人の割合は、例年、女性よりも男性の方が高い傾向にあり、2022 年もその傾向は同様であった。ただし、コロナ禍を受けた登山者数全体の減少により割合自体は 2021 年にも増して男女ともに大幅に減少した。
- ・ 年代別には、例年はいくつかの項目において 50 代にやや許容できない人の割合が多かったものの、2022 年はいずれの年代でも大きく減少し、特に目立って許容できない人の割合が高い年代・項目はなかった。
- ・ 登山経験別の回答傾向の違いは読み取りづらいが、いずれにおいても 2022 年は大きく割合は減少した。

図 登山道の混雑における許容度（許容できない+あまり許容できない）（登山道）（経年変化・属性別）



図 登山道の混雑における許容度（許容できない+あまり許容できない）（山頂）（経年変化・属性別）



図 登山道の混雑における許容度（許容できない+あまり許容できない）（山小屋）（経年変化・属性別）

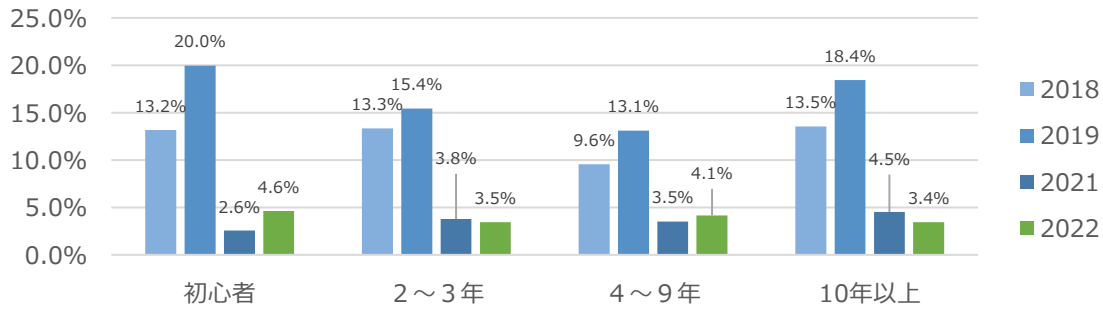
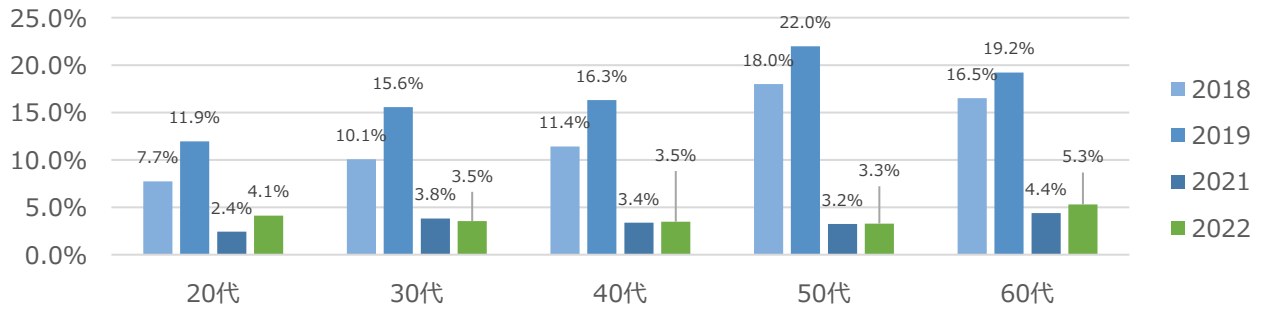
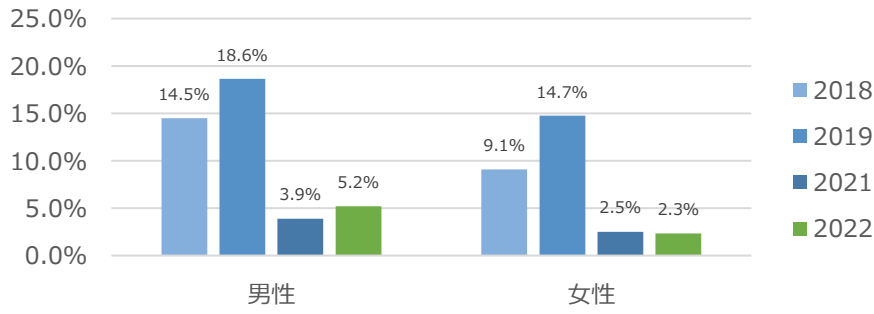
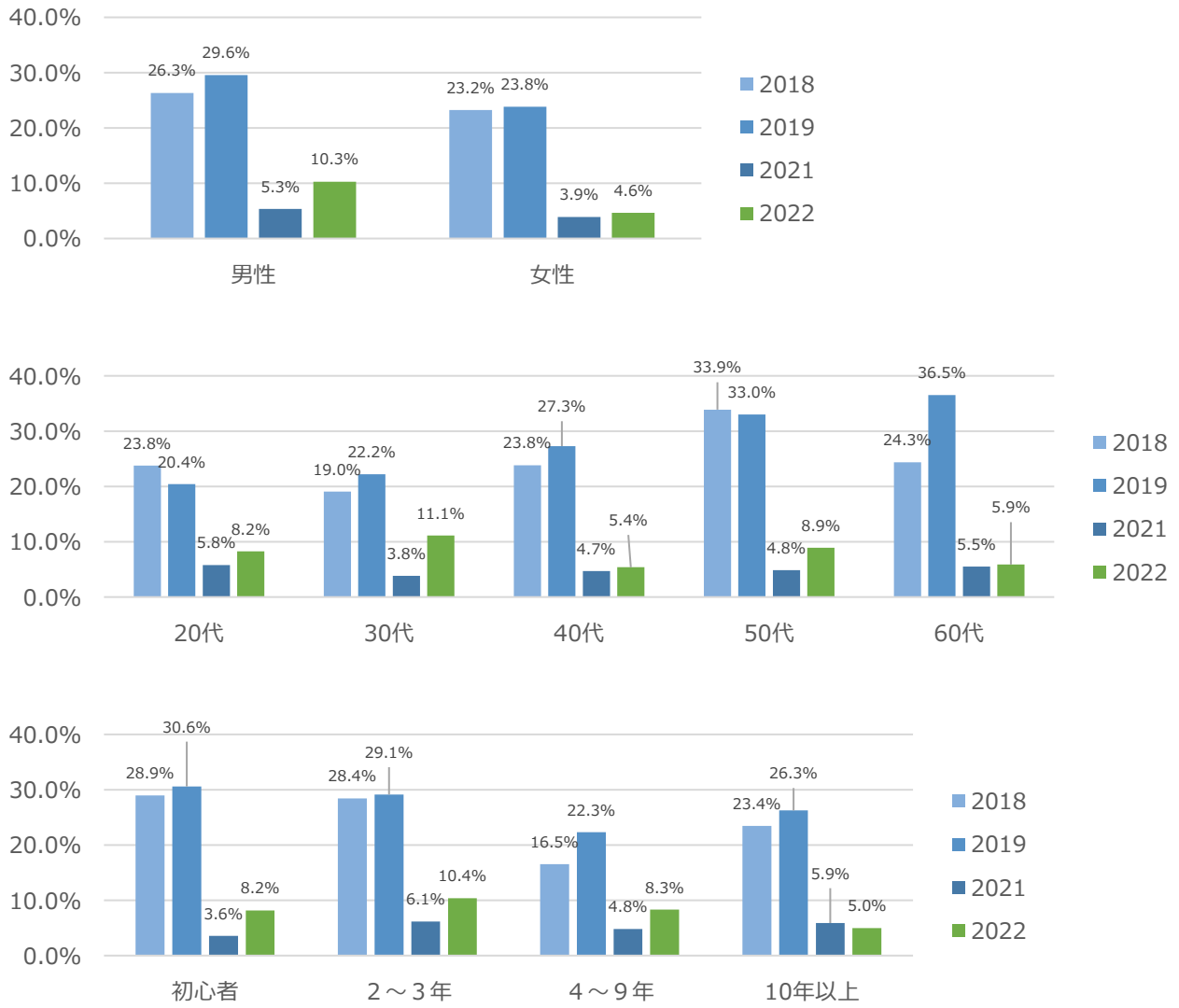


図 登山道の混雑における許容度（許容できない+あまり許容できない）（トイレ）（経年変化・属性別）



⑧ 登山の満足度

- ・ 登山の満足度については、例年、男性よりも女性の方が高い傾向にあり、2022 年もその傾向は同様であった。ただし、トイレの満足度以外のいずれの項目においても男女ともに満足度は減少しており、2022 年については調査日の天候の悪さが影響した可能性があるが、コロナ以降の登山者の満足度については引き続き注視しておく必要がある。
- ・ 年代別には、項目にもよるが例年、年代間での傾向の違いは大きく見られない。
- ・ 登山経験別には、年代同様、登山経験間での傾向の違いは大きく見られない。
- ・

図 登山の満足度（とても満足+やや満足）（登山全体）（経年変化・属性別）

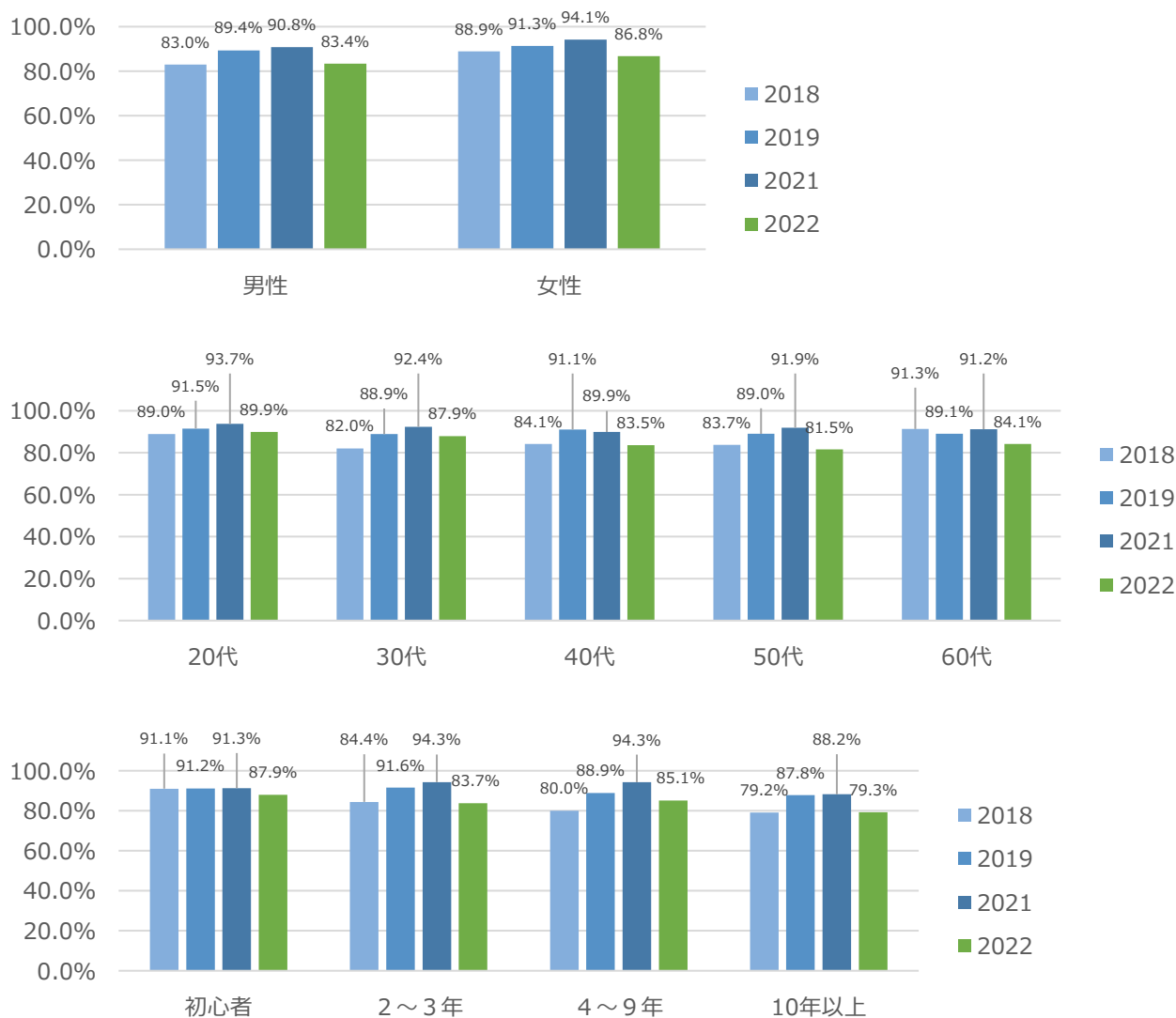


図 登山の満足度（とても満足+やや満足）（ご来光）（経年変化・属性別）

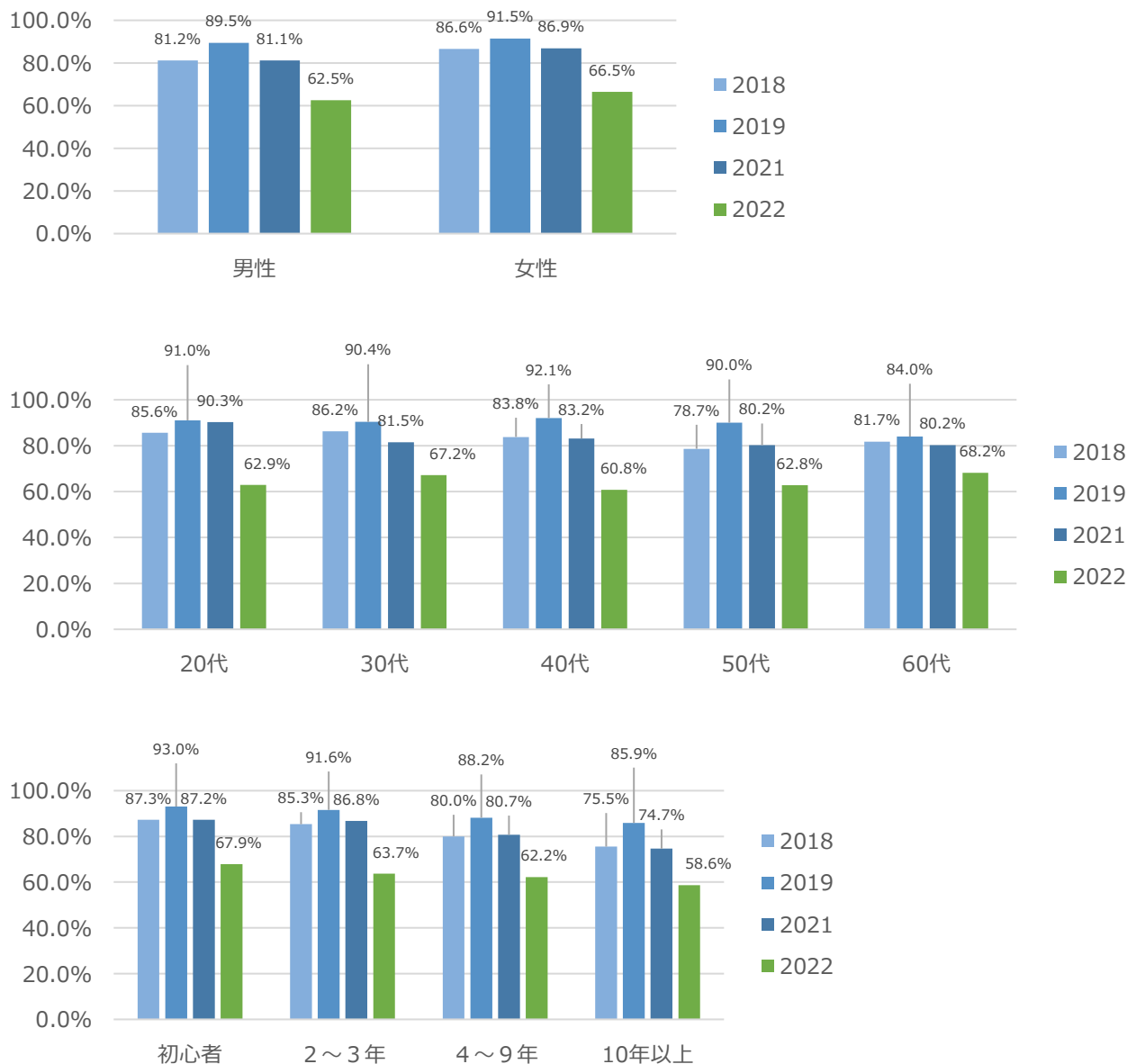


図 登山の満足度（とても満足+やや満足）（山小屋）（経年変化・属性別）

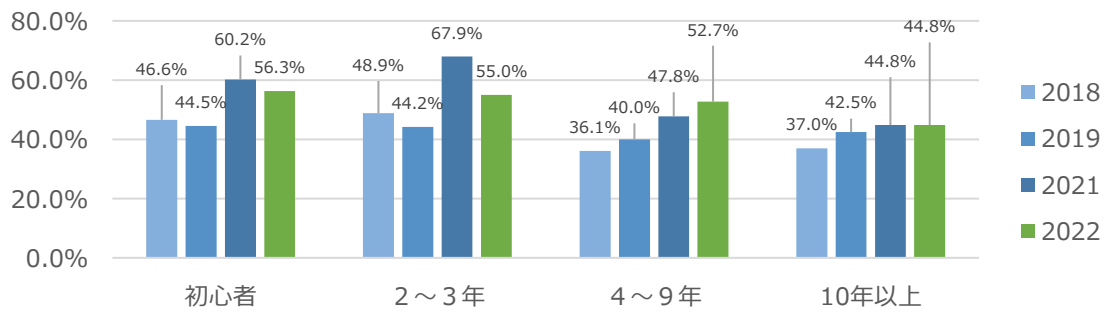
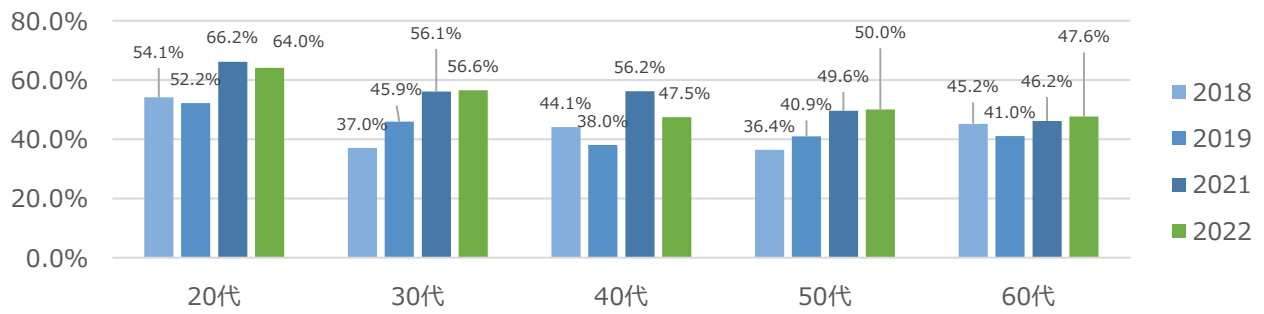
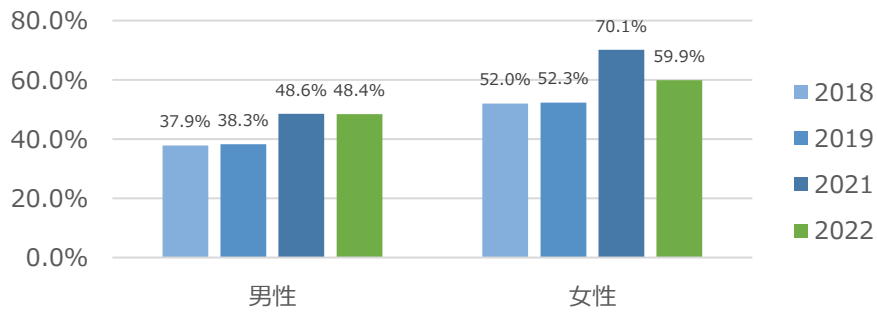


図 登山の満足度（とても満足+やや満足）（トイレ）（経年変化・属性別）



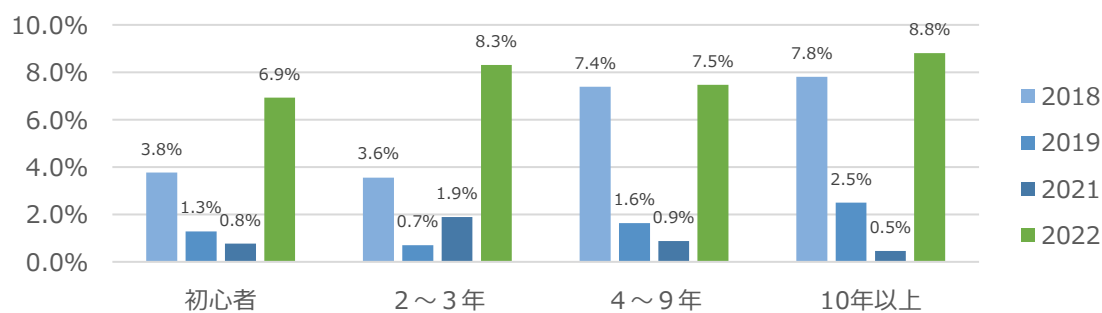
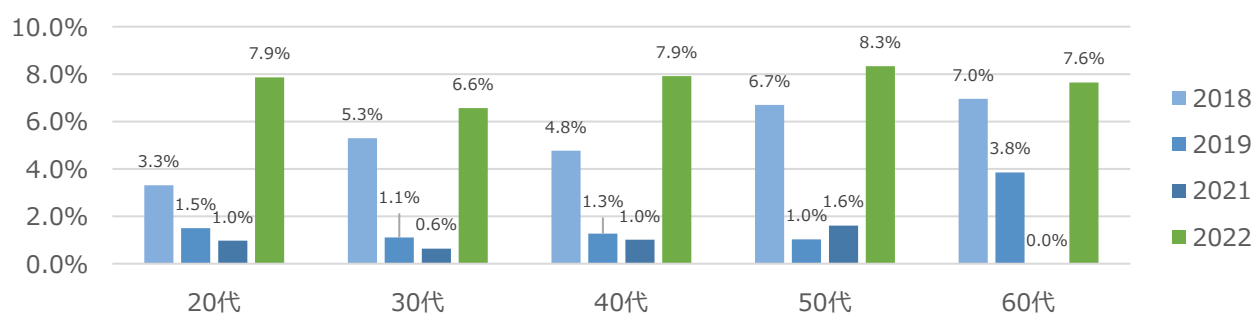
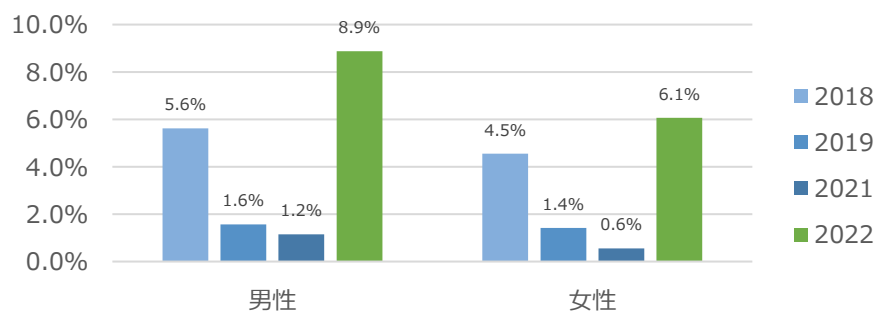
⑨ 登山の不満度

- ・ 登山の不満度は、例年、男性の方が女性よりもやや高い傾向にあった。その傾向は 2022 年も同様である。
- ・ 年代別には、50 代の不満が例年は高く、比較的年代が上がるほど不満の割合が高くなっていった。この傾向は 2022 年も変わらないが、いずれの年代においても全体的に不満が高まった点が特徴的である。御来光に対する満足度では、全世代を通じて大きく不満が高まっており、天候不順といった外部要因が大きく影響したと考えられる。
- ・ 登山経験別には、例年、登山経験が多くあるほど不満が高い結果となっていた。この傾向は 2022 年も変わらないが、いずれの登山経験においても全体的に不満が高まった点が特徴的である。御来光に対する満足度では、おしなべて大きく不満が高まっており、天候不順といった外部要因が大きく影響したと考えられる。

図 登山の不満度（とても不満+やや不満）（登山全体）（経年変化・属性別）



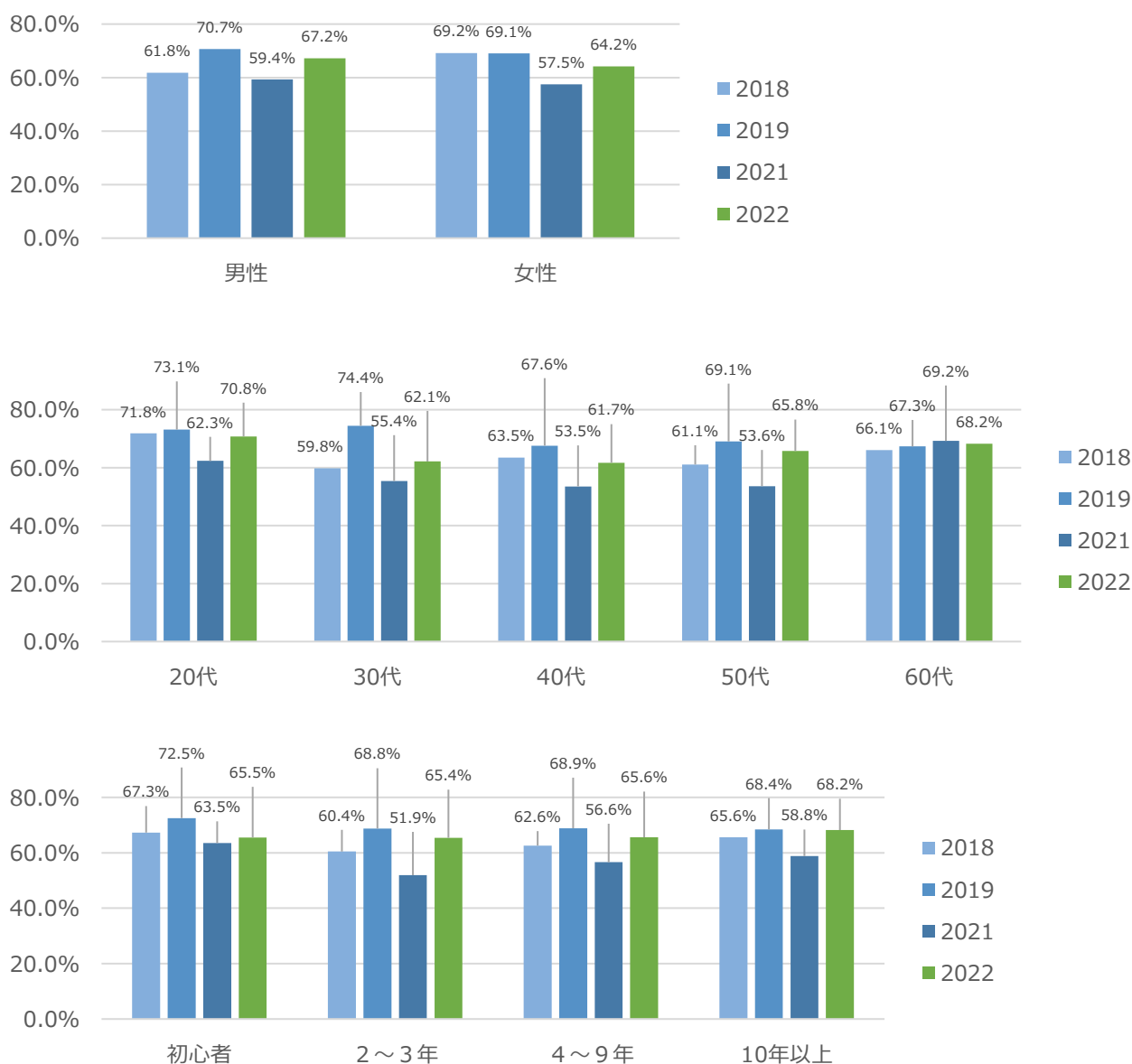
図 登山の不満度（とても不満+やや不満）（ご来光）（経年変化・属性別）



⑩ 混雑情報の事前確認

- ・ 混雑情報については、導入初年の2018年は女性の方が確認している割合が高かったが、2019年以降は若干ではあるが男性の方が確認している割合が上回っている。
- ・ 年代別、登山経験別には、大きな傾向の違いは見られない。

図 混雑情報の事前確認（何らかの媒体を見た）（経年変化・属性別）



(4) 2023 年度以降の調査方法の提案

- ・ 来訪者管理戦略の目標ともなる「望ましい富士登山の在り方」に関しては、「コロナによる影響」や「富士山登山鉄道構想」など、戦略策定時点とは異なる新たな変化要因も生じてきており、今回の調査結果を踏まえて、改めて望ましい富士登山の在り方と照らし合わせながら是非を検討することが望まれる。
- ・ その中で、『望ましい富士登山の在り方』を実現するための指標・水準のうち、モニタリング方法が登山者アンケートによる項目について、2022 年までの調査結果を踏まえ、2023 年度以降の調査方法の変更・調整について以下の点から検討を行うことを提案する。

i) 調査手法及び期間の変更

- ・ これまで登山者アンケートによるモニタリングは、夏山期間に計 6~7 日間の調査日を設定し、うち 4~5 日間を比較的登山者の多い日（主に週末や祝日及び前後日）、2 日間を比較的登山者の少ない日（主に平日）に当て、なるべく広く富士登山に係る登山者の声を拾うことに留意して、調査を実施してきた。また同様の理由で、7 月・8 月の双方に調査日を設定してきている。
- ・ しかし、天候を中心に様々な要因によって登山者数の多寡は事前の調査設計時の想定通りにならないことも多く、結果として、登山者数、天候、調査時期等の条件が年によって異なり、それらの条件の違いが指標の調査結果に影響を与えている可能性がある。
- ・ 年による調査条件を現在よりも揃えていくためには、単純には、限定された 6~7 日間の調査日を拡大し、調査日ごとのプレを薄める方向で調査期間を変更することが考えられる。ただし、同じ調査手法のまま調査日を拡大することは、そのまま調査コストの拡大に繋がるため、コストを抑えたまま調査期間を拡大するためには、調査手法も併せて変更することが求められる。
- ・ 調査手法の変更については、現在の告知カードの配布によるモバイル自記式調査と並行して、各登山道五合目における登山者の主要立ち寄り箇所（休憩所、トイレ等）へのポスター掲示によるモバイル自記式調査も 2020、2021 年と実施をしてきたが、同調査経路による回答者数が著しく少なく、その有効性は確認できていない。
- ・ そのため、他の手法についても検討する必要がある。例えば、富士山保全協力金の収受時に現在使用している登山者アンケートの告知カードを配布することができれば、新たに調査員を雇用する必要もなく、また協力金の収受は開山期間を通じて行っているため、調査日を大幅に拡大することが可能である。
- ・ ただし、富士登山者全体の意見を集めるため、協力率が一定以上確保できていること、また協力の有無による回答の偏りが生じることを避けるため、非協力者に対しても何らかの方法でアンケートへの回答を求めること、協力金の収受作業に過度な追加負担が生じないことなどが条件として必要になる等の課題も残る。

ii) 調査対象の拡充

- ・ 2016 年度における「富士山における外国人登山者動向把握調査業務」において、登山者における外国人の割合は吉田口において平日 29.2%、土休日 18.1%との調査結果が出ている。コロナ下において訪日外国人旅行者がほぼゼロに落ち込んだ状況ではその割合も減少したことが想定されるが、2023 年以降は再び登山者における外国人の割合が回復してくることが想定される。そうした中、2022 年調査では日本人のみを対象としており、富士登山者全体の意見を集める意味では、増加しつつある外国人登山者の声も拾っていく必要があると考えられる。
- ・ ただし、外国人を対象とした調査については現行と同じ告知カードの配布によるモバイル自記式調査を 2018 年度に実施した結果、計 6 日間の調査実施において、配布数 692 に対して回収数が 35、回収率 5.1%といずれも低い値となり、母数となる登山者数が少ない中で回収率が低いことを勘案すると、同手法で効率的に必要な回収数を得ることは難しいものと考えられる。そのため、一定のコストはかかるものの、現時点では対面での聴き取り方式がもっとも現実的な手法であると考えられる。
- ・ 現行調査では、過年度までの調査との継続性を保持するため、8 時から 14 時に調査時間を設定している。この時間設定は、調査コストを勘案した上で、山頂で御来光を迎えた登山者を主対象としていたものである。一方、日帰り登山者は 14 時以降、日没までに五合目へ戻るケースも多くあり、現行の調査時間で捉えられていない点が課題である。日帰り登山者を対象に含めつつ、コストを抑えた調査を実施するためには、i) で記載した調査手法の変更も含めて検討する必要がある。

iii) 集計方法の変更

- ・ i) で記載した調査手法・期間の変更が難しい場合は、集計方法の変更も検討項目の一つとして考えられる。特に近年は、調査設計時の想定に対して配布及び回収が比較的順調な吉田口、富士宮口に対して、須走口、御殿場口における配布・回収が想定を下回り、結果として i) で述べた登山者数、天候、調査時期等の条件以外に、回収登山口のバランスが年によってずれてきていることが懸念点として挙げられる。
- ・ 現行の集計方法では、なるべく操作を加えずシンプルな集計を行う前提で、登山道ごとの加重は付けずに各登山道の回収票を単純に合算して富士登山全体の回答結果を出している。ただし、今後も登山道ごとの回収バランスが年によって大きく異なることが想定される場合には、登山道ごとの回収結果を各登山道の開山期間全体あるいは調査日の登山者数を基にした加重をかけて集計することも、専門家の意見を仰いだ上で検討すべきである。

iv) 調査項目の追加

- ・ 調査項目の追加・変更については、現行の「望ましい富士登山の在り方」を実現するための指標・水準として改善を図る観点と、「望ましい富士登山の在り方」自体を変更する際に、その変更に合わせて指標・水準の設定を行う観点の、二つの観点から検討を行う必要がある。
- ・ 前者については、対策を行っているにも関わらず計測値が変動しづらいもの、あるいは目標水準の達成が見込みづらい場合において、次期計画の見直しの際に対策の効果が反映できる指標・水準への変更を行うことが考えられる。

- 一方、後者については、来訪者管理戦略の目標ともなる「望ましい富士登山の在り方」に関しては、「コロナによる影響」や「富士山登山鉄道構想」など、戦略策定時点とは異なる新たな変化要因も生じてきており、関係会議、関係者等の意見、議論を踏まえながら富士山世界文化遺産協議会として新たな在り方を提示、その在り方に紐づいた指標・水準を新たに設定することが考えられる。

